

令和4年度 総合計画実施計画

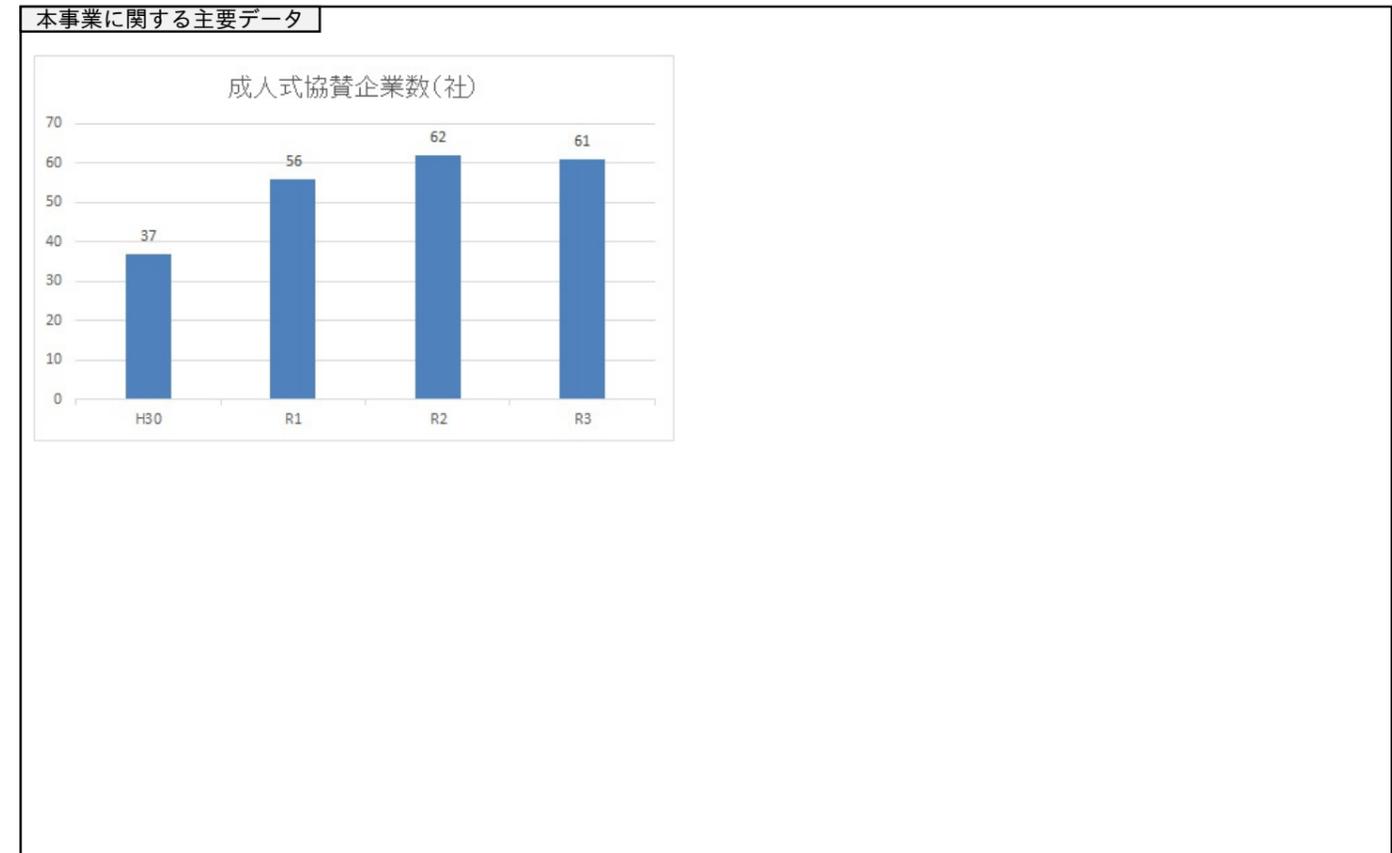
所属	事業名
教育委員会青少年支援センター	はたちの集い開催事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	はたちの集い開催事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「はたちの集い」に参加する若者に松江の良さをアピールし、UIターンのきっかけづくりとする	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		出席率（%）	68.66	83.0	85.0	85.0
	目標（何を達成するのか）					
若者に対する松江の魅力発信と定住促進						

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5～6月	実行委員募集		
	7月～12月	実行委員会の開催		
	1月	はたちの集い開催		
	2～3月	振り返り（事業報告）		

事業概要	企画・運営は一般公募で選出した委員で組織する実行委員会で行う。
------	---------------------------------



事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>R2年度に延期決定した成人式の開催(R3. 11. 21開催) 出席者数 800人 出席率 39.21%</li> <li>R3年度成人式の開催 (R4. 1. 9開催) 成人式実行委員会の開催 成人式式典等の企画・運営 松江の良さをアピールし、UIターンのきっかけとなるような成人式パンフレットの作成や式典開催における協力を企業ボランティアネットワークほか市内各企業に求めた。 出席者数 1,420人 出席率 68.66%</li> </ul>	「はたちの集い」の開催 松江の良さをアピールし、UIターンのきっかけとなるような企画を検討する。	「はたちの集い」の開催 松江の良さをアピールし、UIターンのきっかけとなるような企画を検討する。
	達成度		
2	計画目標に向かって概ね順調		

共創の状況	実行委員会
-------	-------

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	5,895	3,528
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	5,895	3,528
歳入合計		5,895	3,528

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	51		
役務費	349		
委託料	3,128		
事業費計		3,528	

課題	令和4年4月から成年年齢が18歳に引き下げられたが、市では20歳になる（その年度で20歳になる）若者を対象とした「はたちの集い」を開催する。「はたちの集い」では、これまでのようなお祝いの意味合いではなく、若者に対して松江の魅力を再認識してもらうことや松江での就労・定住の促進を図るイベント的要素を盛り込みたい。	方向性	実行委員会方式を引き続き採用し、若者の創意工夫を取り入れながら、県外在住の若者のUIターンのきっかけとなるイベント作りを行う。
----	---	-----	---

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	UIターン促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	UIターン希望者に対する支援や松江市の縁者への情報発信を行うことにより、松江市へのUIターン促進を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	市への相談対応件数（件）	98	100	100	100	
	目標（何を達成するのか）					
	UIターン者の増加	市のサポートにより定住した人数（人）	37	15	15	15

**事業概要**  
 松江市へのUIターン希望者に対する相談対応、県外でのUIターンフェアにおける出張相談の実施により、UIターン者の増加を図る。また、UIターン相談登録者や松江市の縁者に対して定住に関する情報発信を行い、将来的な松江市へのUIターンを促す。

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	新型コロナウイルス感染症の影響で、都市圏へ出張してのイベント（移住相談会・フェア等）は中止となった。代替のオンラインイベントには積極的に参加し、松江市単独でオンライン相談にも対応した。	島根県主催の都市圏へ出張しての移住相談会に参加予定。オンラインイベントも引き続き積極的に参加していく。Zoomなどを活用した移住相談にも個別に対応していく予定。	引き続き移住相談会などに積極的に参加していく。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
財源内訳	事業費		5,440
	国・県支出金		2,226
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	3,214
歳入合計		0	5,440

**課題**  
 他市町村に比べ、移住に関する支援メニューが少ない中で、「松江市」を選んでもらえるプロモーションをどのように行っていくかが課題。就業支援コーディネーターによる、企業と就職希望者とのマッチングも積極的に行っていく。

**方向性**  
 今後も 県及びふるさと島根定住財団等と連携を深め、本事業や就業支援事業を継続的に実施する。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	UIターン促進事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	相談対応		

本事業に関する主要データ	
令和3年度 相談件数	
相談件数合計	<b>98件</b> Web相談会16件、ワンダーランド10件
相談カード登録件数	<b>86件</b> 登録件数86人(98-12)
R4移住予定件数	<b>6件</b> (内協力隊0件、CCサポ4件、その他6件)
R3移住済件数	<b>23件</b> (内協力隊2件、CCサポ6件、その他15件)
R2移住済	<b>6件</b> 内助成金手続問合せ等6件

共創の状況
-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	3,561		
職員手当等	728		
共済費	477		
旅費	423		
役務費	214		
使用料及び賃借料	37		
事業費計		5,440	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	高校魅力化コンソーシアム運営マネージャー配置事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	高校時代から地域や地元とのつながりを作ることにより、将来的なUターン志向の増加を促し、松江市への定住を視野に入れるとともに、居住地に関係なく地域の活性化に貢献したいと思う高校生を増やす。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	地元企業の仕事等を知っている生徒（%）		50	80	80
	自分にとって魅力ある地元企業の仕事内容や職場環境を知っている生徒の増加。将来、居住地に関係なく松江市の活性化に貢献したいと考える生徒の増加。					

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）</p> <p>項目名 地元企業の仕事内容や職場環境を知っている生徒の割合【対象生徒へのアンケート】：2029（R11）年度</p> <p>松江市内2つの県立高校をモデル校とし、高校魅力化コンソーシアム運営マネージャーを配置することで、地元の産業や企業への理解を深めたり、卒業生ネットワークの構築を図る取り組みを推進する。</p>
------	---

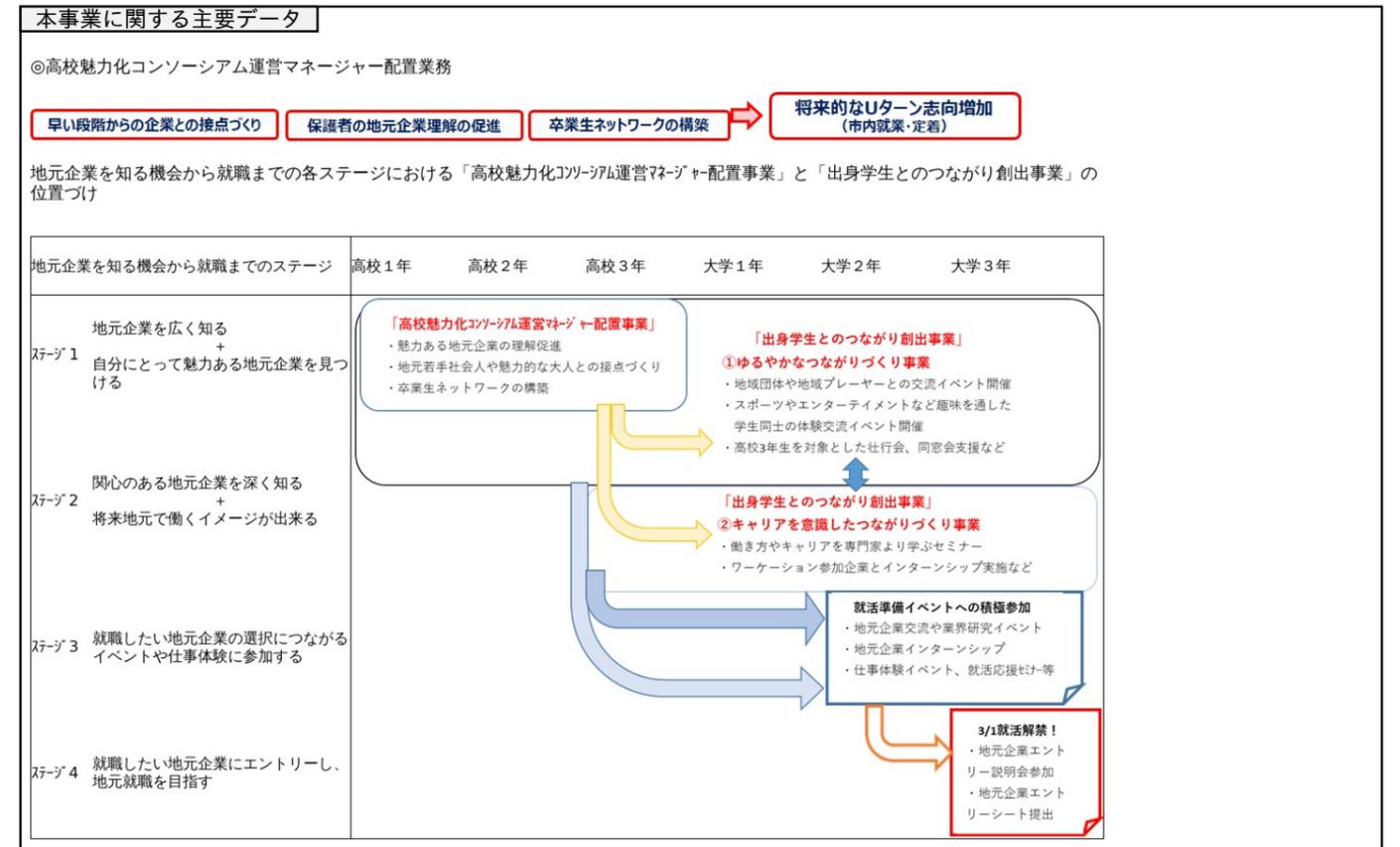
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	高校魅力化運営マネージャーの配置準備	島根県立松江南高校 1名 島根県立松江商業高校 1名 高校魅力化コンソーシアム運営マネージャー配置 学校・生徒と地元との連携を強化する取り組み及び、卒業生のネットワーク構築を行う。	引き続きモデル校2校に運営マネージャー配置し、学校・生徒と地元の連携強化や卒業生のネットワークづくりを行う。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		6,333
	国・県支出金		4,749
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	1,584
歳入合計		0	6,333

課題	将来的なUターン志向の増につながる、地元で働く若年社会人や地域で活躍する人との接点づくりを強化していかなければならない。
方向性	モデル事業であり、市内では他に例がないことから、最初の1年間は市や学校が主導しながらマネージャーを育成していく。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	高校魅力化コンソーシアム運営マネージャー配置事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	マネージャー配置		



共創の状況	
-------	--

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	4,091		
職員手当等	1,206		
共済費	881		
旅費	155		
事業費計		6,333	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
政策部政策企画課	夢を実現できるまち推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「松江市総合計画」に掲げる将来像「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」をめざし、未来を担う若者の主体的な活動とユニークなアイデアの実現を支援する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		ミライソウゾウ会議参加者数（人）	39	50	50	50
		松江に愛着を持つ高校生・学生の割合（%）	61.9	66	67	75
目標（何を達成するのか）	若者の主体的なまちづくりへの参画を促し、本市への愛着を深める。	地域活動への参画割合（学生）（%）	36.6	60	62	70

**事業概要**  
 総合計画の策定時に実施したオンライン会議「ミライソウゾウ会議」を、コミュニティ形成とアイデアの実践に向けた学びの場として引き続き開設します。学校や職業を超えた交流により視野を広げ、まちづくりへの関心を高める「ミライソウゾウ会議室」と、アイデアの実現に向けた学びの場「ミライソウゾウ研究室」で構成します。オンライン会議システムの活用など、若者が参加しやすい環境とします。（数値目標の目標年度）R11(2029)年度

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	ミライソウゾウ会議2021（年代別） 全3回 55人 ミライソウゾウ若者合同会議 全2回 39人	ミライソウゾウ会議室（2回） ミライソウゾウ研究室（1回） 地域での活動支援	ミライソウゾウ会議室（2回） ミライソウゾウ研究室（1回） 地域での活動支援
	達成度	1   計画目標に向けて順調に推移	

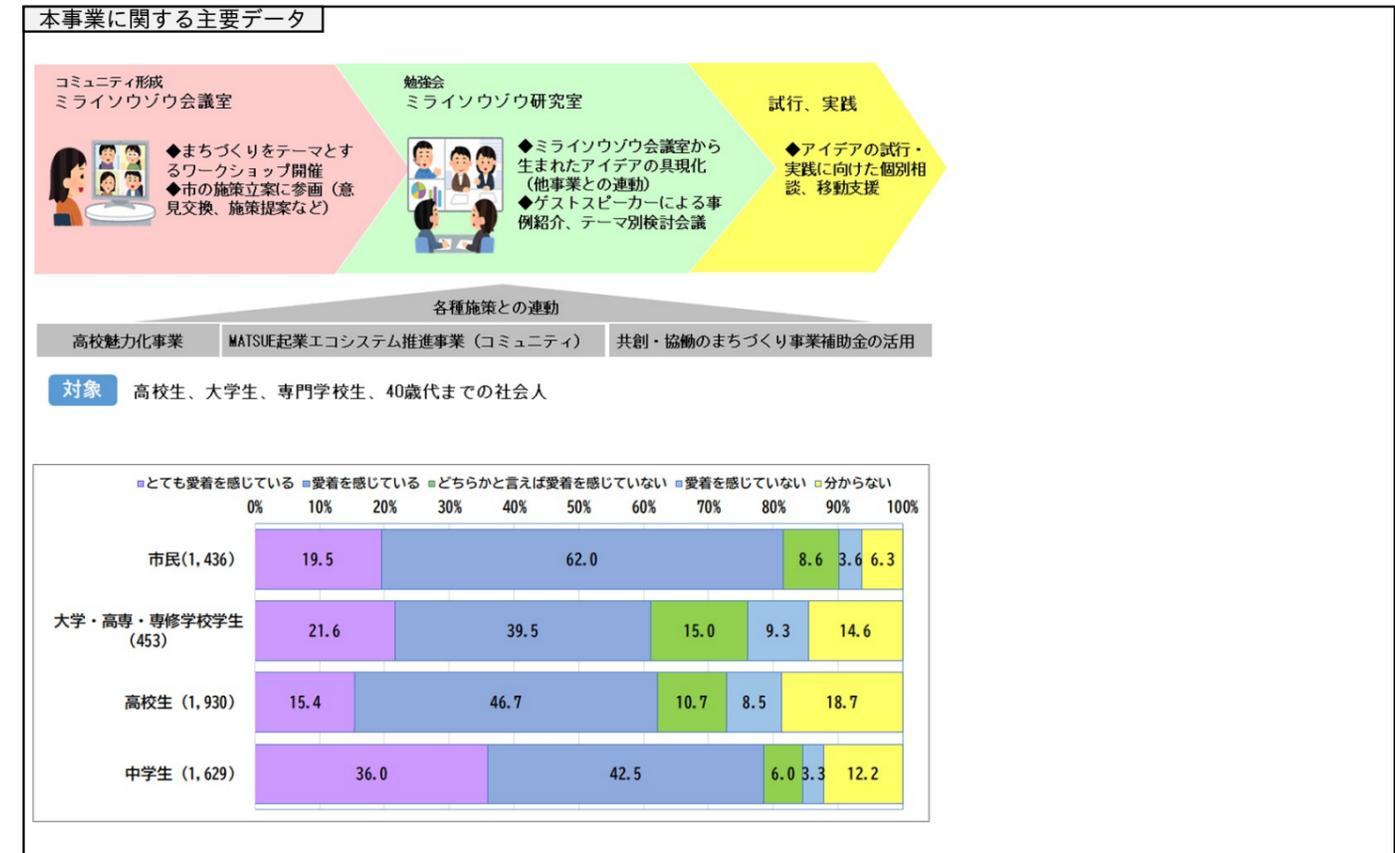
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			2,267
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	2,267
歳入合計		0	2,267

**課題**  
 ・ミライソウゾウ会議への参加をきっかけに地域活動へ繋げたい。  
 ・市内にある大学は県外出身者の学生が多く、在学中に本市の魅力的なヒト・モノ・コトに触れる機会をもっと増やしていきたい。  
 ・しかしながら、学生が市内各地に出かけるための交通手段等の課題があると聞いており、何等かの支援が必要だと考える。

**方向性**  
 若者が市域全体をフィールドに活動できる仕組み・仕掛けを同会議室の参加者の意見を聞きながら検討する。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	夢を実現できるまち推進事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	年間プログラム策定・周知		
	7～10月	会議室（2回）		
	11～12月	研究室		



共創の状況	委託
-------	----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	2,267		
事業費計		2,267	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	テレワーク・デイズMATSUE事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	IT企業等のテレワーク・ワーケーションの推進を図り、来松いただいたIT企業との関係性を強化し、企業誘致や人材誘致、あるいは地元企業等との事業連携につなげる。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 1) 松江式ワーケーションに参加した人数30人（R11年度単年） 2) 利用企業者数95社（R1～R11年度累計）※R1～R4年度：25社、R5～R11：70社 見込み	松江式ワーケーションに参加した人数（人）	27	30	30	30
	利用企業数（件）	7	5	10	95	

事業概要
<p>（数値目標の目標年度） 項目名 松江式ワーケーションに参加した人数【4月～3月】：2029（R11）年度（単年） 項目名 利用企業者数：2029（R11）年度（累計）</p> <p>・働き方改革、多様な働き方に対応した受け皿として、「松江での新しい働き方」や「松江ならではの付加価値」として、市が設置するサテライトオフィスに加え、古民家を活用したシェアオフィスだけでなく、八束町や美保関町などのワークスペースがあるゲストハウスなどの民間施設で、テレワークの可能な施設を紹介し、都会のオフィスとは異なった空間の働き場を提供する。 ・また、仕事中にはない時間の過ごし方として、松江市を中心とした圏域の豊富な観光資源を活かしたツアープログラムや体験活動プログラムを構築する。</p>

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	<p>・コロナ禍における移動制限や企業単位での出張自粛もあり、受入れを中止したパッケージがあるものの、R3年12月までに5グループ27人を受入れ。 ・アフターコロナを見据えて、ワーケーションの取り組みを導入検討している企業との提携を推進。</p>	<p>・コンソーシアムを通じて、本市でのテレワーク・ワーケーションプログラムツアーを商品化し、本市でのテレワーク・ワーケーション利用者を増やし、移住、企業誘致に繋げると共に、パッケージ商品の自走化に向けて取り組む。</p>	<p>・パッケージ化されたプログラムについて参加者の意見を取り入れながらブラッシュアップし、利用拡大を図る。</p>
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		6,177
	国・県支出金		2,100
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	4,077
歳入合計		0	6,177

課題	方向性
<p>・コロナ禍における移動制限や企業の出張自粛などの影響により受入開始時期が遅れたことや、催行中止となったパッケージもあったが、テレワークの普及などにより、企業や企業内個人の利用ニーズについてはあるものと認識している。（申込や相談案件多数） ・延期となったR3年東京オリンピックの開催やコロナ禍におけるテレワークの普及、働き方改革として、テレワークやワーケーションに取り組む企業は広がりを見せており、首都圏等の企業の参加は見込めるため、ターゲットとする企業の選定が重要となる。</p>	<p>地元企業等との事業連携（企業版関係人口）を柱に、ターゲット企業の見極めやコーディネーターが重要となる。 地元企業や地域の活性化につながる中長期的な関係性構築を目標として、利用者の滞在期間中だけでなく、オンラインを活用したアフターフォロー実施し、持続的な関係性や連携を行っていく。</p>

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	テレワーク・デイズMATSUE事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4-3月	テレワーク受入れ		
	4-3月	事業広報		

本事業に関する主要データ

### ◆松江市への新たな人の流れを生み出す取り組み テレワーク・デイズMATSUE事業

■松江ならではの付加価値

- 「食」、「観光」
- +
- ストレスサイエンス
- セルフマネジメント
- コミュニケーション（地域との交流）
- セキュリティ整備

松江発のビジネス創出 | テレワーク者増加（関係人口増） | 基幹産業の成長（IT産業振興） | 移住者の増加 | 企業誘致

共創の状況	協議会
-------	-----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	150		
委託料	1,827		
負担金補助及び交付金	4,200		
事業費計		6,177	

# 令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	地域おこし協力隊事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域資源を活用し、磨きをかけて収益事業を創り、雇用の場を拡大して、地域の活性化を図る。	項目（成果指標） 地域おこし協力隊定着率(%)	R3実績見込 82	R4計画 80	R5計画 80	目標値 80
	目標（何を達成するのか） ・人口維持、地域の産業維持・活性化、地域振興。 ・任期後は、松江市で起業・就業し、定住につなげる。	中核CN、協力隊員の定着（人）	14	15	17	32
	・中核CN、協力隊員の定着、拡大・創出した地域ビジネス数の目標値は、R11年度末の目標値	拡大・創出した地域ビジネス数（累計、件）	13	14	19	36

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）</p> <p>項目名 地域おこし協力隊定着率【任期終了後定住した隊員数/受入隊員数】：2029（R11）年度松江の優れた地域資源を、それにかかわる地域の団体・企業等と共創・協働の精神により、一緒になって掘り起し、磨きあげ、収益の拡大や新たなビジネス・雇用の場を創出し、地域の元気につなげる。</p> <p>[地域おこし協力隊の活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各隊員がそれぞれの知識・経験・能力を発揮し、チームとして相乗効果を発揮する。</li> <li>地域の生産拠点を活かし、地域の団体等と協働して収益増、起業、雇用の場を創出する。</li> <li>地域資源を使った商品やサービスの再生・開発・加工・流通・販売により、地域経済の好循環を図る。</li> <li>3年の任期を終えた後は、松江市で起業・就業し、定住につなげる。</li> </ul>
------	---

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規隊員4名を加えた8名体制で事業実施。</li> <li>これまで同様、地域と協働した取り組みを進めながら、より発展的な事業を実施。</li> <li>次年度の採用に向けた活動をオンラインを活用し実施。</li> <li>本年度任期終了となる4期生3名は松江に定住し、令和4年度に起業する予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで同様、地域と協働した取り組みを進めると同時に、退任した隊員の行うビジネスとの連携等も図りながら、より発展的な事業を行っていく。</li> <li>次年度の採用に向けた活動を行う。</li> <li>5期生は、自身の起業・独立を見据えた実践的な取り組みを行い、退任後の定着につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで同様、地域と協働した取り組みを進めると同時に、退任した隊員の行うビジネスとの連携等も図りながら、より発展的な事業を行っていく。</li> </ul>
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
財源内訳	事業費	39,475	39,801
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	540	756
	一般財源	38,935	39,045
歳入合計		39,475	39,801

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動終了後を具体的に見据えた事業の推進が求められ、それに向けた伴走型の支援が必要</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の地域おこし協力隊の活動内容や特徴、成果、サポート体制を見える化し、移住マッチングサイト等を活用して広く情報発信することで、採用活動の強化を図る。</li> <li>現役の隊員に向けては、起業・創業に向けた研修体制の充実を図り、定住につなげる。</li> <li>任期満了を迎え卒業した隊員についても、引き続き関わりながら、必要に応じて支援を行う。</li> </ul>
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	地域おこし協力隊事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4-3月	地域資源を活用した事業創出	11-12月	次年度採用コーディネーター募集
	4月	辞令交付(採用)	3月	辞令交付式(任期満了)
	5-10月	人財募集説明会		
	9-10月	市長及び庁内報告会		

本事業に関する主要データ	
拡大・創出した地域ビジネス	内容
アンテナショップ	隊員たちの研修・サポートも担う働きおこしが運営するアンテナショップ。実地研修の一環として、取扱商品の開拓や開発、ディスプレイデザインなどの企画提案を行う。
大根島活用事業	中海に浮かぶ島「大根島」を活用し、地元事業者等と協力して農泊・ゲストハウス事業やサイクリングツアー事業、PR事業などを複合的に展開。
空き家・空き店舗再活プロジェクト	古民家活用型多創出複合施設「SUETUGU」を開業。「チャレンジを応援する場をコンセプト」にシェアオフィス、コワーキングスペースに加え、1日単位で飲食店を出店できるチャレンジカフェなどの複合拠点を開設、運営。
ジビエ活用促進プロジェクト	野生鳥獣肉の捕獲・解体・加工・販売に加え、有害鳥獣として捕獲された猪が埋設処理されることを防ぎ、地域資源としてジビエ肉・革製品・骨の食用利用などで活用できる事業を行う。
地域産品販路開拓、商品開発プロジェクト	優れた商品を生産しているにもかかわらず販路を持たない地元産品の販路開拓・拡大と、市場のニーズに合った商品開発のためのマーケティングサポート等を行うことで、商機・ビジネス規模の拡大を図り、新たな雇用の創出につなげる。
健康寿命No.1のまちをめざした取り組み	健康寿命No.1のまちをめざし、特に壮年期～更年期の市民を対象とし、高齢者の健康増進・マラソン・ウォーキングイベント・コミュニティヘルスケアなどの取り組みを、行政・民間事業者・福祉事業者等と連携して行う。
地域商社型ビジネス創出モデルの創出・検証	パエリアを食材活用のプラットフォームとして、松江ならではの食材の活用策や、地域食材活用による個性や誇り・愛着を創出し、県内外との関係人口づくりを目指す。
ワーキングメンタルヘルスケアプロジェクト MATSUE	多拠点居住や、テレワーク・ワーケーションといった働き方改革に対応した取り組み。実証実験として、大都市圏のIT企業で働く方を対象に、松江でのテレワークを通じて各バイタルデータの計測や分析をすることで、地方で働くことでのストレス値の低減を検証し、健康づくりのビジネスモデルや松江での多様な働き方を生み出すことを目指す。
松江スポーツアクティビティ DANDANプロジェクト	松江市や水辺を拠点都市、市民の皆様がより健康的でより楽しく活動できる環境づくりを行う。
HAPINESS ON PALLETEプロジェクト	SDGsの啓発活動と島根町漂着ゴミアート及び廃校活用
水辺の活用(どっこい舎)	空き地になった大橋南の土地を利用して、焚き火とリヤカーの屋台のお店ROKKAKUプロジェクト及び矢田渡船を活用したキャンプ場の運営により水辺の滞在空間の創出、水辺で地元、観光客が繋がる拠点づくり
松江サンセットRUN	「スポーツ×観光」の視点から構築した事業。地元旅館、地域ランナーと協働して実施。観光地から観光地の移動手段をジョギングにすることで、普段観光客が訪れない道を通ることで松江の生活雰囲気味わってもらうほか、商店と連携して、地元おススメの店舗に誘導する。

共創の状況	共催
-------	----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	18,875	委託料	2,992
職員手当等	3,007	使用料及び賃借料	6,349
共済費	3,566	負担金補助及び交付金	680
報償費	61		
旅費	2,623		
需用費	813		
役務費	835		
事業費計		39,801	

# 令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	ふるさとづくり寄附事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市の魅力あるふるさとづくりに資する事業に対して寄附金を募り、これを財源として活用するとともに、ふるさと納税返礼品等を通じて松江市の魅力を全国に発信する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		ふるさと納税寄附者数【4月～3月】	5,853	10,237	10,237	10,237
	目標（何を達成するのか）	寄附金額（千円）	157,187	200,000	200,000	200,000
・関係人口の創出を図るため、寄附者数の増加を目指す。 ・財源の確保を図るため、寄附金額の増加を目指す。 ・特産品の情報発信を図るため、返礼品数の増加を目指す。	返礼品数（品）	343	430	460	640	

事業概要	（数値目標の目標年度） ふるさと納税寄附者数【4月～3月】：2029（R11）年度 寄附金額（千円）：2029（R11）年度 返礼品数（品）：2029（R11）年度
	『ふるさと納税』と呼ばれる寄附金税制を取り扱う事業で、「松江市ふるさとづくり寄附条例」に基づき取り組んでいる。この税制では、個人が自治体に寄附した場合、2千円を除いた金額が税金から控除される。市では、観光や産業の振興、歴史文化の保全継承、魅力あるふるさとづくりなどの事業に寄附金を活用している。なお、5千円以上の寄附者には事業者等と協力し、国の基準に基づく返礼品を進呈している。また、地方創生応援税制（『企業版ふるさと納税制度』）にも取り組んでおり、内閣府から認定を受けた市の事業に対して民間企業が寄附した場合、有利な控除を受けることができる制度であることから、民間活力を得ることで、力強く地方創生を進めていく。

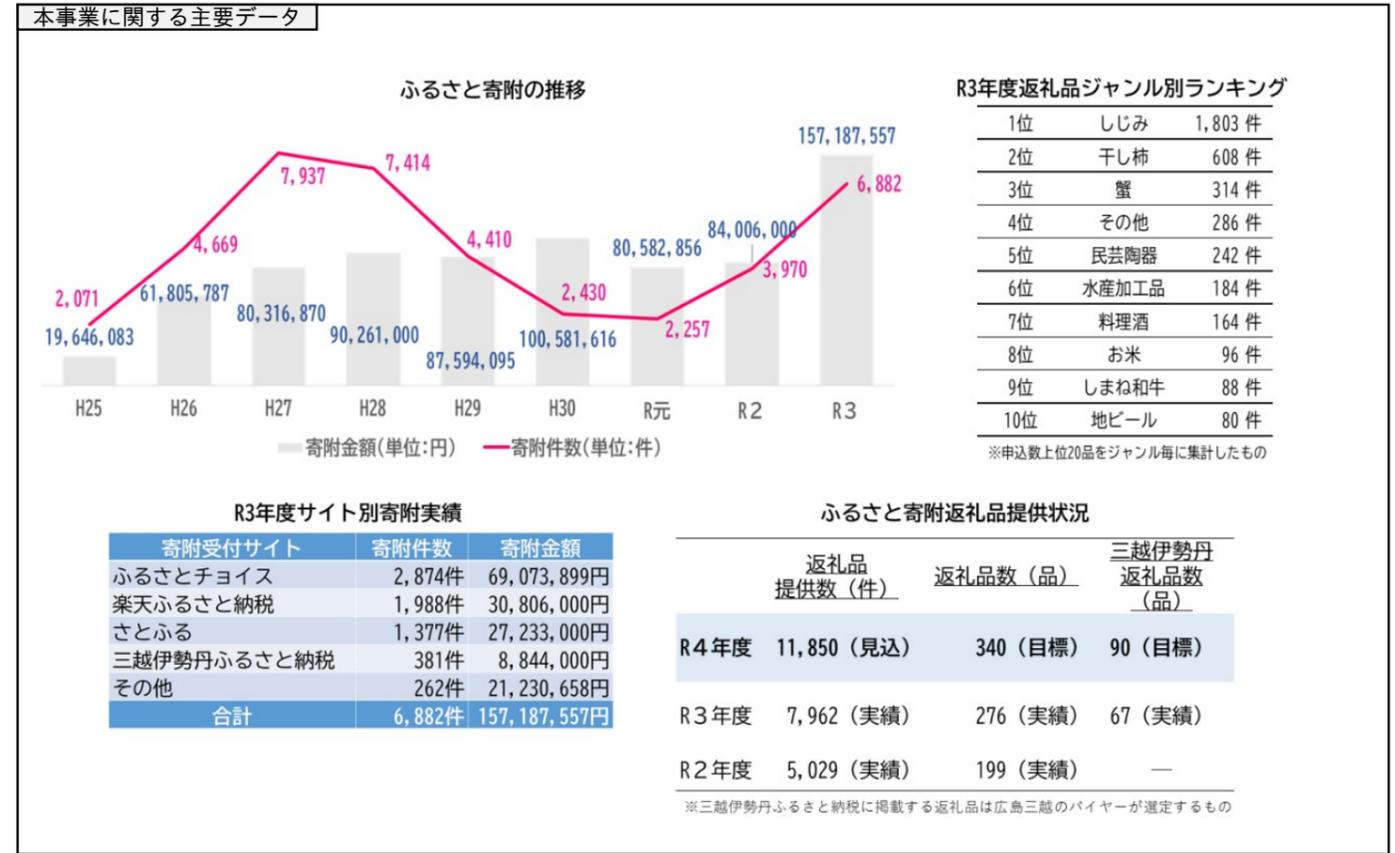
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	【寄附者数】5,853人 【寄附件数】6,882件 【寄附金額】157,187,557円 【返礼品数】343品 【返礼品提供数】7,962件 ◆さとふる、三越伊勢丹ふるさと納税を追加。 ◆松江商工会議所青年部や事業者などと連携し、複数事業者によるコラボ返礼品や新たな返礼品を追加。 ◆専門的な知見を持つ事業者により、新たな返礼品の開発や既存返礼品の見直しを行った。	【寄附者数】10,237人 【寄附件数】10,775件 【寄附金額】200,000,000円 【返礼品数】430品 【返礼品提供数】11,850件 ◆専門的知見を取り入れることにより、魅力ある特産品の開発や発掘を行う。 ◆企業版ふるさと納税を含めたPR用チラシを各地の松江会や同窓会組織の会員に配布するとともに、SNS等を活用したPR強化を図る。 ◆寄附者ニーズに応えることで寄附者満足度の向上を図り、新規寄附者やリピーターの獲得に取り組む	【寄附者数】10,237人 【寄附件数】10,775件 【寄附金額】200,000,000円 【返礼品数】460品 【返礼品提供数】11,850件 ◆専門的知見を取り入れることにより、魅力ある特産品の開発や発掘を行う。 ◆企業版ふるさと納税を含めたPR用チラシを各地の松江会や同窓会組織の会員に配布するとともに、SNS等を活用したPR強化を図る。 ◆寄附者ニーズに応えることで寄附者満足度の向上を図り、新規寄附者やリピーターの獲得に取り組む
	《企業版ふるさと納税》 松江市総合計画の策定に伴い、新たに地域再生計画の認定を受けた。地域再生計画の実施期間はR4.4.1～R7.3.31。 【寄附件数】3件 【寄附金額】11,100千円	《企業版ふるさと納税》 ◆松江出身の企業家などのリストを活用し、ターゲットを明確にすることで市の取組事業を紹介するなど、企業版ふるさと納税へ繋げるためのPR強化を図る。 ◆他部署と連携を図り、特に寄附を集める事業を選定し、企業にアプローチをする。	《企業版ふるさと納税》 ◆松江出身の企業家などのリストを活用し、ターゲットを明確にすることで市の取組事業を紹介するなど、企業版ふるさと納税へ繋げるためのPR強化を図る。 ◆他部署と連携を図り、特に寄附を集める事業を選定し、企業にアプローチをする。
達成度	2	計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R3	R4
	決算見込	当初予算
事業費	58,825	104,281
財源内訳		
国・県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	58,825	104,281
歳入合計	58,825	104,281

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>●他地域にはない魅力ある返礼品の不足</li> <li>●全国の寄附者への返礼品等の情報発信力の不足</li> <li>●新規松江ファンの獲得及びリピーターの定着化</li> <li>●寄附者情報の分析や他自治体の優良事例などの情報収集</li> <li>●「企業版ふるさと納税」の市外企業への積極的な提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○松江商工会議所や圏域市長会、返礼品提供事業者等と連携し、他地域にはない魅力ある返礼品の開発に取り組み、返礼品内容を充実させることで、寄附件数、寄附額単価の向上を図る。</li> <li>○庁内の関係部署や市内事業者と連携し、HPやSNS、メルマガ等を活用した情報発信力の強化。</li> <li>○ワンストップ特例申請における書類返送の負担軽減、返礼品に同封するお礼状のリニューアルによる寄附者満足度の向上に取り組み、新規松江ファンの獲得やリピーターの定着化を目指す。</li> <li>○返礼品の見直しやポータルサイトの追加といった取り組み強化の効果の検証や寄附者情報の分析を行うことで、サイトの特性に合った返礼品の掲載や返礼品提供事業者の利便性向上など今後の取り組みを強化。</li> <li>○松江出身の企業家などのリストを活用し、ターゲットを明確にすることで市の取組事業を紹介し、企業版ふるさと納税へ繋げるためのPR強化を図る。</li> <li>○企業と自治体のマッチング会への参加。</li> </ul>

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	ふるさとづくり寄附事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	R4年度ふるさと寄附の受付開始	通年	企業版ふるさと納税トップセールス
	11月	次年度ふるさと寄附返礼品の募集開始	通年	企業と自治体のマッチング会への参加
	通年	R4年度ふるさと寄附返礼品の随時募集	通年	個人、企業版ふるさと納税のPR
通年	魅力ある返礼品の開発			



共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	3,500	使用料及び賃借料	97
職員手当等	716	負担金補助及び交付金	60,000
共済費	713		
旅費	410		
需用費	399		
役務費	35,499		
委託料	2,947		
事業費計			104,281

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	出身学生とのつながりづくり創出事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「高校3年生～大学3年生」を対象に、一気通貫した情報提供やアプローチを行うことにより、将来的なUターン志向を醸成する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	目標（何を達成するのか） (R11年度) (1) イベント参加者数：500人（単年）	イベント参加者数（人）		150	270	500

**事業概要**  
 (数値目標の目標年度)  
 項目名 イベント参加者数：2029 (R11) 年度  
 「①地域プレーヤーとの交流、スポーツなどを通じたイベントを通して、学生自身の松江への想いの醸成や自己実現をサポートする『ゆるやかなつながりづくり事業』」と、「②就職活動や起業に有利な情報・知識・技術を取得できるセミナーや企画を行い、松江を通すことで、学生の目指すキャリアに近づくことができる『キャリアを意識したつながりづくり事業』」の2つの事業を実施することにより、ファーストキャリアとしての松江市内就業や、転職、テレワークによるUターンでの松江市内就業につなげる。

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	該当事業なし	下記(1)(2)の事業について、プロポーザルによる運営事業者を選定して実施。 (1) ゆるやかなつながりづくり事業（事業案） ・地域団体や地域プレーヤー、及び関係人口との交流イベント開催 ・高校3年生を対象とした壮行会開催、同窓会（学生主催事業）支援など (2) キャリアを意識したつながりづくり事業（事業案） ・ワーケーション参加企業と松江市内でのインターンシップ実施など ・デザイン思考などの思考におけるフレームワーク習得ワークショップの開催など (3) アンケート実施による統一的な出身学生のデータベースづくり	アンケートによる各イベントの効果測定を実施し、毎年イベントの見直しを実施し、Uターン志向醸成に効果的なイベントへブラッシュアップを行う。
	達成度	1	計画目標に向けて順調に推移

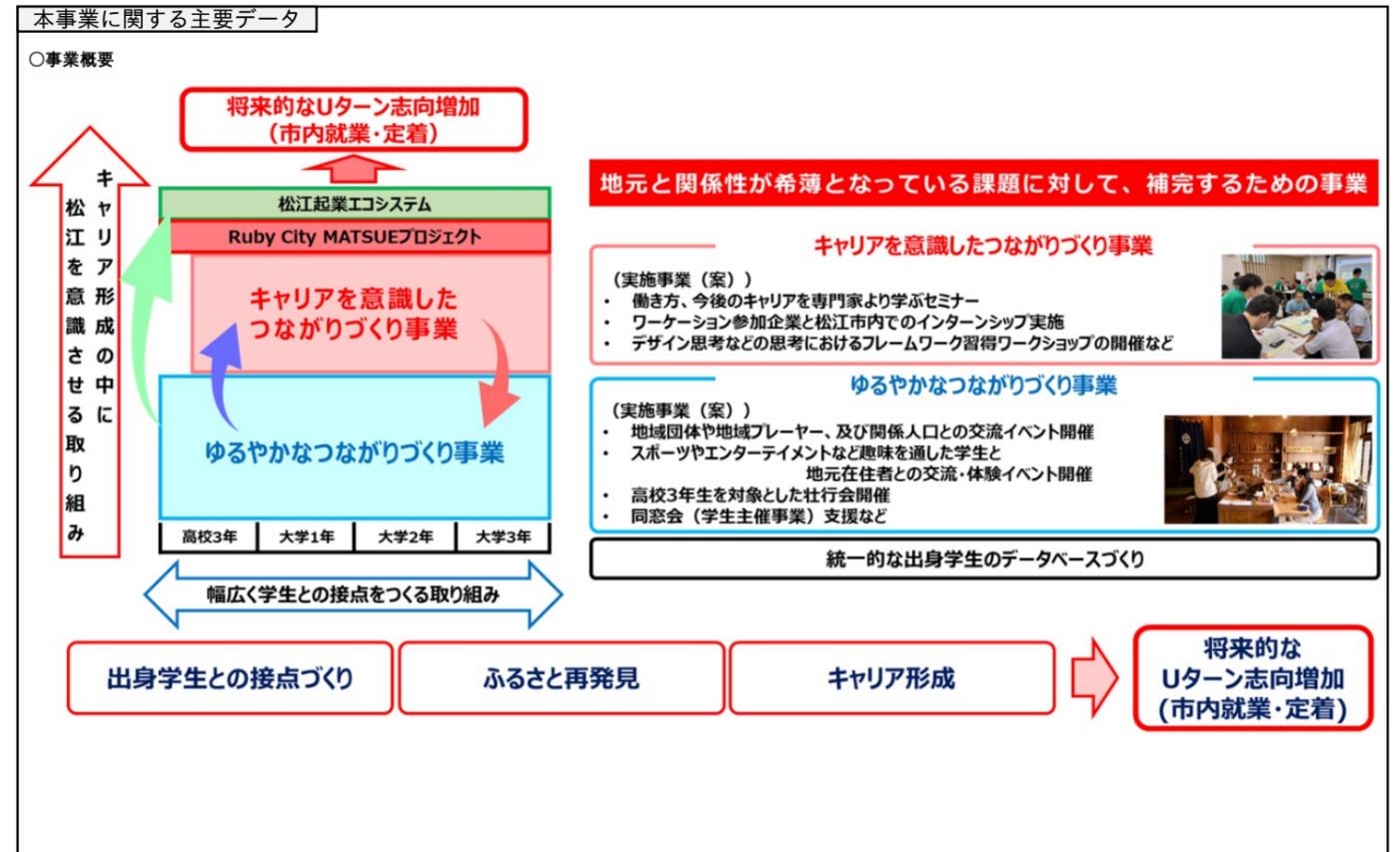
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		7,150
	国・県支出金		5,250
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	1,900
歳入合計		0	7,150

**課題**  
 ・県内進学者の市内就職率は約8割、県外進学者の市内就職率は約3割と大きく乖離がある状況。  
 ・島根県の調査によると、小中学校のふるさと教育により、子どもたちのふるさとへの愛着が高まったと感じている教員は9割を超える一方、将来住んでいる地域で働くことを希望する県立高校生は、約5割。  
 ・出身学生への連絡手段として、島根県による島根学生登録があり、メールからLINEに移行中。登録者を増やす必要あり。

**方向性**  
 ・小中学校でのふるさと教育が、高校進学後の進路の選択（キャリア形成）に結びついていない状況。  
 ・県外進学後、地元とのつながりが希薄となり、地域で働く想いが薄れると共に、都市部で働く社会人との交流が増えていくにつれ、地元で働くイメージが持てなくなっている。  
 ・一方、IT普及、コロナ禍により、人口過密な都市でなく、テレワークなどで地方でも都市部の仕事が可能。  
 →「地域への関心・関わり」と「キャリア形成」が地続きであることを意識づけるきっかけと継続的に連絡がとれる独自のデータベースが必要。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	出身学生とのつながり創出事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月	プロポーザルにより運営事業者選定		
	7-3月	事業実施		
	7-3月	参加者へのアンケート実施、分析		
	3月	データベース作成		



共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	150		
委託料	7,000		
事業費計		7,150	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	郷土行事等振興事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	・ 伝統行事・伝統文化の保存継承	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		鑿行列保存会構成団体数	31	31	31	31
		鑿行列参加団体数	0	22	14	20
目標（何を達成するのか）	松江祭鑿行列・宵宮（前夜祭）の開催 菊花展の開催	菊花展参加者数	54	50	50	50

事業概要	<p>【松江祭鑿行列】 鑿保有町内及び鑿保有団体、小学校が参加する伝統行事。例年17団体程度参加。鑿を打ちながら市内を練り歩く。 (時期) 10月第3土日。前日に宵宮（前夜祭）</p> <p>【菊花展】 市内を中心とした菊花愛好家が育てた菊花の展覧会・品評会 (時期) 10月下旬～11月上旬 (場所) 国宝松江城馬溜広場</p>
------	---

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	<p>【鑿行列】 ・106回目の鑿行列もコロナ禍で中止。 【宵宮（前夜祭）】 ・松江市内の橋北・橋南の計2箇所 で観光客や市民など鑿たたき体験を実施予定もコロナ禍で中止。 【菊花展】 ・大手前馬溜りでの菊の展示を実施した。</p>	<p>【鑿行列】 10/16（日） ・107回目の鑿行列を実施予定。 ・参加予定団体数：22団体 【宵宮（前夜祭）】10/15（土） ・松江市内の橋北・橋南の計2箇所 で観光客や市民など鑿たたき体験を実施予定。 ・参加予定団体数：8団体 【菊花展】 10/29（日）～11/13（日） ・松江城馬溜で菊の展示を実施予定。</p>	<p>【鑿行列】 ・108回目の鑿行列を実施予定。 【宵宮（前夜祭）】 ・松江市内の橋北・橋南の計2箇所 で観光客や市民など鑿たたき体験を実施予定。 【菊花展】 ・松江城馬溜で菊の展示を実施予定。</p>
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
事業費		3,700	11,250
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	3,700	11,250
歳入合計		3,700	11,250

課題	<p>■鑿行列 ・各参加町内・団体へ松江市が支払っている報償金については、各参加団体のスケジュールにより、年度ごとの参加団体数が変わるため、早期に翌年度参加団体数を把握する必要がある。 ■宵宮（前夜祭） ・H30年度から、橋南会場をJR松江駅北口に変更した結果、賑わいの創出に成功した。今後、集客をどのように活かしていくか検討が必要。 ・橋北会場は水燈路期間のため観光客や市民で賑わっている。 ■菊花展 ・会員の高齢化にともない、出品者数が減少している。また、出品者が固定化していることから、より幅広く募集をかける必要がある。 ・後継者の確保、育成。</p>	方向性	<p>■鑿行列 ・鑿行列保存会の後継者育成と参加団体数の確保、ならびに市民への普及と浸透を図る。 ■菊花展 ・市報、ケーブルテレビ、チラシ等の媒体を利用して、菊花展の開催及び作品募集のPRを事前に行う。</p>
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	10月	宵宮・鑿行列開催		
	10月～11月	菊花展開催		

本事業に関する主要データ						
●鑿行列					中止	中止
	H28	H29	H30	R01	R02	R03
構成団体数	31	31	31	31	31	31
参加団体数	13	21	16	17	-	25
参加人数	1,410	2,266	1,736	1,970	-	-
観覧者数	80,000	50,000	80,000	85,000	-	-
●宵宮（前夜祭）					中止	中止
	H28	H29	H30	R01	R02	R03
参加団体数	12	7	12	9	-	8
観覧者数	8,500	5,000	9,000	7,000	-	-
●鑿まつり（水燈路に合わせて鑿行列2週間前くらいに実施）					中止	中止
	H28	H29	H30	R01	R02	R03
参加団体数	7	10	7	8	-	-

共創の状況	委託
-------	----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	6,750		
委託料	4,500		
事業費計			11,250

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	郷土芸能継承発展経費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	本市の貴重な伝統芸能文化の継承、発展を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		指標になじまない				
	目標（何を達成するのか）					
地域伝統芸能祭の開催や保存団体等の支援を通して、伝統芸能文化の継承の機運を高める。						

事業概要	<p>○地域伝統芸能祭（令和4年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的：松江の伝統芸能文化を広く市民に知ってもらうとともに、保存団体相互の交流を促進し、継承発展につなげる。また、若い世代にも出演してもらい、後継者育成につなげる。</li> <li>開催日：令和5年3月12日</li> <li>会場：松江テルサ</li> </ul> <p>○松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保存団体の支援や情報発信を行い、伝統芸能文化の継承、発展を図る</li> <li>加盟団体数：伝統芸能文化保存団体23団体</li> <li>事業：保存団体への活動助成、情報提供、情報発信</li> </ul>
------	--

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金（22団体） ・保存団体への活動助成、情報提供（各種支援制度など）	○地域伝統芸能祭開催 ・出演団体：協議会加盟団体他10団体程度 ・地域伝統芸能祭実行委員会へ補助金交付  ○松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金（23団体） ・保存団体への活動助成、情報提供（各種支援制度など）	○松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金（23団体） ・保存団体への活動助成、情報提供（各種支援制度など）
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
事業費		690	4,484
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	690	4,484
歳入合計		690	4,484

課題	保存団体の高齢化や地域の学校とのつながりの希薄化などから後継者の確保や活動の継続が難しくなっている。	方向性	保存団体の支援を行うとともに、伝統芸能祭の開催や情報発信を通して、若い世代を含む多くの市民に伝統芸能文化の魅力に触れてもらい、継承、発展につなげていく。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	負担金交付（松江市伝統芸能文化保護育成協議会）		
	9月	補助金交付（伝統芸能祭実行委員会）		
	3月	地域伝統芸能祭開催		

本事業に関する主要データ						
■加盟団体：23団体						
地域別：旧松江市13、鹿島町2、島根町1、美保関町2、八束町1、八雲町1、宍道町1、東出雲町2						
■過去の開催実績						
合併後、平成20年度から平成29年度までの間に、7回にわたり地域伝統芸能祭を開催						
年度	開催日	出演団体	来場者数	開催地域等	開催場所	
平成20年度	H21.3.29	10	523		県民会館中ホール	
平成21年度	H21.10.11	10	400	美保関町	美保神社境内 特設ステージ	
平成23年度	H23.5.28	7	500	島根町	島根体育館	
平成24年度	H25.3.24	11	350	八雲町	アルパホール	
平成25年度	H26.3.16	8	300	鹿島町	鹿島文化ホール	
平成27年度	H27.6.27	11	400	合併10周年記念 伝統芸能フェスティバル	島根県民会館(中ホール)	
平成29年度	H30.3.18	8	316	in東出雲	東出雲ふれあい会館	

共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	4,484		
事業費計		4,484	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	スピーチコンテスト事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市を世界に紹介した文豪・小泉八雲の命日を記念して、八雲の作品を英語で暗唱するコンテストを開催することによって、青少年の英語の表現力向上に資し、国際理解と親善に貢献することを目的とする。 目標（何を達成するのか） ・小泉八雲作品の普及 ・青少年の英語表現力の向上	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		参加人数（人）	0	60	60	60
		県内参加人数（人）	0	50	50	50
参加校（校）	0	30	30	30		

事業概要	松江を世界に紹介した文豪小泉八雲の偉業をたたえ、八雲の作品を暗唱するコンテストを開催する。 ・ジュニアの部 小学生及び中学生 ・シニアの部 高校生（高等専門学校在学者は3年生まで） 各部の優秀者を表彰する。
------	--

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	新型コロナウイルスの影響により、実施せず	第56回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト開催する。 会場：松江テルサ 日程：9月25日（日）9：30～18：00 参加資格：ジュニアの部、シニアの部 スピーチの内容：八雲の英文の作品（『改訂新・小泉八雲暗唱読本』）の暗唱発表。	第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト開催する。
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	0	1,469
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	1,469
	歳入合計	0	1,469

課題	・青少年の国際交流と八雲の作品の普及のために、より一層の関心を持っていただけるよう、出場者だけでなく、観覧者の増加が必要	方向性	・教育委員会を通じて校長会等で各学校への参加協力依頼 ・SNS等を利用した情報発信の強化 ・参加者のレベルに応じて、部門を増やすことも検討が必要
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月～8月	参加者募集		
	9月下旬	スピーチコンテスト開催		

本事業に関する主要データ				
	(人)			
年度	平成28年度 (第50回)	平成29年度 (第51回)	平成30年度 (第52回)	令和元年度 (第53回)
参加者数合計	76	62	54	45
うち市内	31	27	20	21
うち市外	45	35	34	24
ジュニア	40	37	28	25
うち市内	18	16	10	12
うち市外	22	21	18	13
シニア	36	25	26	20
うち市内	13	11	10	9
うち市外	23	14	16	11

共創の状況	
-------	--

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	112		
役務費	9		
委託料	1,348		
事業費計			1,469

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	子ども塾スーパーへるんさん講座事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江ゆかりの文学者である小泉八雲の顕彰を図るとともに、主として八雲の感性を通じて松江や日本文化を再発見する機会とするもの	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	実施校数（校）	1	1	1	1	
目標（何を達成するのか）	スーパーへるんさん講座を受講した子供達の豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深める。					

事業概要	<p>小・中学生を対象に、松江ゆかりの文学者である小泉八雲について学ぶ場を提供することにより八雲の顕彰を図るとともに、主として八雲の感性を通じて松江や日本文化を再発見する機会とするもの。</p> <p>平成28年度以前は参加者を公募していたが、平成29年度からは市内小学校と連携して実施している。</p> <p>【実績】平成29年度 内中原小学校（1校）平成30年度 中央小学校（1校） 令和元年度 中央小学校（1校）令和2年度 古江小学校、揖屋小学校、来待小学校、揖屋小学校（4校） 令和3年度 古江小学校（1校）</p>
------	--

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	<p>松江市内の1つの小学校において、小泉八雲ゆかりの体験学習等と実施した。</p> <p>【実施校】古江小学校（4年生）</p> <p>【内容】講義、五感を使った活動、まちあるき</p>	<p>松江市内の1つの小学校において、小泉八雲ゆかりの体験学習等と実施する。</p> <p>【実施校】古江小学校（4年生）</p>	<p>希望する小学校を対象に、小泉八雲ゆかりの体験学習等と実施する。</p>
	達成度	1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
事業費		120	201
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	120	201
歳入合計		120	201

課題	希望する学校が固定化しており、広がりが無い	方向性	教育委員会と連携し、これまで参加してこなかった学校にも参加を呼び掛ける
----	-----------------------	-----	-------------------------------------

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～7月	実施予定校と協議、準備		
	7月～11月	子ども塾開催		

本事業に関する主要データ						
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
参加者数	121人	58人	60人	167人	50人	
参加校	1校	1校	1校	4校	1校	

共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	13		
需用費	10		
役務費	1		
使用料及び賃借料	177		
事業費計			201

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	作品普及事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の功績をたたえ、その作品を対象とする感想文・詩の募集を行うことにより、八雲の作品の読書をすすめて、豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深めることを目的とする。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	応募作品数	135	130	130	130
	「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施し、小泉八雲作品の普及および読書の推進をはかり豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深める。	松江市内応募作品数	4	25	25	25

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施する。</li> <li>感想文4部門（小学生・中学生・高校生・一般）、詩1部門を募集し、優秀作品を表彰する。</li> </ul>
------	--

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施した。（感想文第36回、詩第33回）	小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施する。（感想文第37回、詩第34回）	小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施する。（感想文第38回、詩第35回）
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
事業費		253	290
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	253	290
歳入合計		253	290

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内応募者の割合が少ない（R2：179名中5名、R3：135名中4名）</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会との連携強化</li> <li>SNS等を使用した情報発信強化</li> </ul>
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月～1月	作品募集		
	2月	作品審査		
	3月	表彰式開催		

本事業に関する主要データ											
年度	感想文				小計	(作詞・)詩				小計	合計
	小学生	中学生	高校生	一般		小学生	中学生	高校生	一般		
R3	4(1)	4	26	50(2)	84(3)	0	0	1	50(1)	51(1)	135(4)
R2	27(4)	9	25	66(1)	127(5)	1	0	1	50	52	179(5)
R1	2	1	32(1)	61(2)	96(3)	2	1	0	38	41	137(3)
H30	19(1)	6(2)	11(7)	29(2)	65(12)	0	1(0)	2(1)	28(0)	29(1)	94(13)

※ ( )内は松江市内

共創の状況	委託
-------	----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	33		
役務費	21		
委託料	236		
事業費計			290

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	茶の湯文化振興費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」・「松江市茶の湯条例」に基づき、茶の湯を通じた文化と産業の振興を図るとともに、将来へ発展的に継承し、「茶の湯のまち・松江」の実現を図る	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		「茶の湯の日」PR協力店舗数（店）	45	65	65	65
		「松江藩ちやのゆの学校」受講者数（人）	0	120	120	120
目標（何を達成するのか）	茶の湯文化に触れる機会の創出・拡充					
	茶の湯関連イベント参加者数（人）	1,059	1,000	1,000	1,000	

事業概要	<p>【茶の湯の日PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内和菓子店ほか、小売店での「茶の湯の日」ポスター・のぼり掲示</li> <li>市報等での広報ほか</li> </ul> <p>【茶の湯の日イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不昧公の命日である4月24日（「松江市茶の湯条例」で公式に位置付けた「茶の湯の日」）にちなみ、春（4月）・秋（10月）に茶の湯の日イベントを開催</li> <li>学校給食で抹茶特別メニュー提供</li> <li>市内小売店で茶の湯関連商品の販売促進</li> <li>大型小売店で抹茶体験、和菓子作り体験イベント（松江菓子協会主催）開催支援</li> </ul> <p>【松江藩ちやのゆの学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>茶道未経験者や子どもを対象に茶道を体験する出前講座を実施</li> </ul> <p>【食文化シンポジウム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>茶懐石を気軽に学ぶイベント（郷土料理研究会主催）開催支援</li> </ul>
------	---

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	<p>【茶の湯の日PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ポスター・のぼり掲示</li> <li>茶の湯関連商品の特売</li> </ul> <p>【茶の湯の日イベント】</p> <p>&lt;4月24日、25日&gt;</p> <p>内容：茶の湯体験、和菓子づくり体験 会場：イオン松江店 参加者：418人</p> <p>&lt;10月23日、24日&gt;</p> <p>内容：茶の湯体験、和菓子づくり体験 会場：イオン松江店 参加者：641人</p> <p>【松江藩茶の湯の学校】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で未開催</p> <p>【食文化シンポジウム】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で中止</p>	<p>【茶の湯の日PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ポスター・のぼり掲示</li> <li>茶の湯関連商品の特売</li> </ul> <p>【茶の湯の日イベント】</p> <p>&lt;4月23日、24日&gt;</p> <p>内容：茶の湯体験、和菓子づくり体験 会場：イオン松江店</p> <p>&lt;10月23日、24日&gt;</p> <p>内容：茶の湯体験、和菓子づくり体験 会場：イオン松江店</p> <p>【松江藩茶の湯の学校】</p> <p>参加希望者に松江藩茶の湯の学校を開催</p> <p>【食文化シンポジウム】</p> <p>不昧公が遺したお茶文化について、「茶懐石」の心得を学び、発信することで郷土の文化に親しんでいただき、継承することを目的とするシンポジウムを開催</p>	<p>【茶の湯の日PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ポスター・のぼり掲示</li> <li>茶の湯関連商品の特売</li> </ul> <p>【茶の湯の日イベント】</p> <p>&lt;4月（予定）&gt;</p> <p>内容：茶の湯体験、和菓子づくり体験 会場：イオン松江店（予定）</p> <p>&lt;10月（予定）&gt;</p> <p>内容：茶の湯体験、和菓子づくり体験 会場：イオン松江店（予定）</p> <p>【松江藩茶の湯の学校】</p> <p>参加希望者に松江藩茶の湯の学校を開催</p> <p>【食文化シンポジウム】</p> <p>不昧公が遺したお茶文化について、「茶懐石」の心得を学び、発信することで郷土の文化に親しんでいただき、継承することを目的とするシンポジウムを開催</p>
	達成度	1	計画目標に向けて順調に推移

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R3 決算見込	R4 当初予算
	709	921
	709	921
	709	921
	709	921

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代への茶の湯文化の継承</li> <li>茶の湯文化に係る事業者との連携</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>和菓子店等等と連携して「茶の湯の日」の取り組みの推進</li> <li>SNS等を利用した情報発信強化</li> </ul>
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	茶の湯文化に関する情報発信、松江藩茶の湯の学校の開催		
	4月	茶の湯の日イベント（春）の開催		
	10月	茶の湯の日イベント（秋）の開催		
	1月	食文化シンポジウムの開催		

本事業に関する主要データ				
■「茶の湯の日」PR 協力店舗				
年度	H30	R1	R2	R3
店舗数	61	56	62	45
■「茶の湯の日」市内給食提供数				
	H30	R1	R2	R3
提供数	1,617	170,000	194,000	20,100
■松江藩ちやのゆの学校				
	H30	R1	R2	R3
店舗	11	8	0	0
■茶の湯の日イベントの開催				
	R1	R2	R3	
店舗	548	626	1059	
■食文化シンポジウムの開催				
	H30	R1	R2	R3
店舗	150	200	30	中止

共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	143		
需用費	167		
役務費	11		
負担金補助及び交付金	600		
事業費計		921	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	文化力を生かしたまちづくり推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市民の暮らしの根底にあり、市民の誇りとなりうる力「松江の文化力」を、次世代に受け継ぎ、住む人、訪れる人、誰もが心豊かになれるまちにしていこう。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	成果指標になじまない				
	伝統文化芸術の振興を図り、松江の文化力を生かしたまちづくりを行う。					

**事業概要**

- ・松江国際文化観光都市70周年の節目である令和3年3月に制定した「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき、松江の伝統文化芸術の振興を図る。
- ・条例とあわせて策定した伝統文化芸術振興計画及び令和3年度に策定した実施計画に基づき、計画的に伝統文化芸術の振興を図る。
- ・条例に基づき設置する松江市伝統文化芸術振興審議会により、毎年度、評価・検証を行う。
- ・実施計画は、審議会や伝統文化芸術に関わる方々の意見を聞きながら策定する。
- ・部局横断的な取り組みができるよう、関係課と連携を図る。
- ・条例や振興計画、実施計画の周知を図る。

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○パンフレット等による条例や振興計画の周知 ○審議会の設置及び開催 ・第1回審議会：8月31日開催 ・第2回審議会：1月24日開催 ・第3回審議会：3月29日開催 ○庁内連絡会議の開催 ・9月27日開催、10月28日開催、2月10日開催 ○実施計画の策定（R4.3月30日開催）	○パンフレット等による条例や振興計画、実施計画の周知 ○審議会の開催（9月、3月） ○庁内連絡会議の開催 ○振興計画、実施計画の評価・検証	○パンフレット等による条例や振興計画、実施計画の周知 ○審議会の開催（9月、3月） ○庁内連絡会議の開催 ○振興計画、実施計画の評価・検証
	達成度 1   計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R3	R4
	決算見込	当初予算
事業費		448
国・県支出金		0
地方債		
その他		448
一般財源	0	0
歳入合計	0	448

**課題**

条例制定や振興計画及び実施計画策定を多くの市民に周知する必要がある。また、伝統文化芸術のどの分野においても後継者不足や次世代への継承など共通の課題がある。

**方向性**

松江の文化力を支える「七つの柱」を「知る」、「育てる」、「伝える」、「創造する」、「活用する」、「支える」、六つの取組の視点を取り入れながら伝統文化芸術の振興を図る。伝統文化芸術の振興を効率的、効果的に取り組むため、関係部署や関係団体などとの連携を図る。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	9月	第1回審議会開催		
	3月	第2回審議会開催		

**本事業に関する主要データ**

松江の文化力を生かしたまちづくり条例

めざすべきまちの姿:誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまち

R3年3月制定

松江市伝統文化芸術振興計画

計画期間:令和3年度～令和14年度(12年間)

R3年3月策定

第1期 実施計画 令和3年度～令和6年度 (4年間)	第2期 実施計画 令和7年度～令和10年度 (4年間)	第3期 実施計画 令和11年度～令和14年度 (4年間)	
種まき期	成長期	収穫期	R4年3月策定
第1期は、種まき期として、実施計画策定前から取り組んでいる事業のほか、現状や課題を踏まえ、取り組むべき施策や事業を推進していきます。	第2期は、成長期として、改めて種をまく事業、第1期の課題を修正し、充実させて継続する事業など、次の段階として取り組むべき施策や事業を推進していきます。	第3期は、収穫期として、第1期、第2期の課題や実績を検証し、振興計画を総括するとともに、長期的展望の中で取り組むべき施策や事業を推進していきます。	
			

共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	242		
旅費	127		
需用費	10		
役務費	8		
委託料	40		
使用料及び賃借料	21		
<b>事業費計</b>			<b>448</b>

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江城・史料調査課	地域の文化財調査・発信事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「誰もが松江の歴史文化を誇りに思い、こころ豊かになれるまち」実現のため	項目（成果指標） 地域調査実施公民館区数（累計）	R3実績見込	R4計画 4	R5計画 6	目標値 29
	目標（何を達成するのか）	「文化財保存活用地域計画」に基づき、公民館区ごとに地域住民とともに文化財調査を実施することにより、地域ごとの歴史的特徴を明らかにするとともにその魅力を発信する。				

事業概要	<p>地域に残る歴史史料（古文書等）を中心に、その所在や内容を調査し、実態把握と保存の措置をとる。調査の成果は公民館を中心とした地域と共有するとともに、松江市歴史叢書や歴史史料集の発刊、SNSやWeb講座、松江歴史館での展示等に反映する。</p> <p>1) 地域別文化財調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古文書悉皆調査…松江地域内の公民館区ごとに古文書調査を実施。悉皆的に所在を把握するとともに保存の措置を図る。</li> <li>地域住民との連携…調査に当たっては地域の歴史に詳しい方や、子供たちからも情報を集めるなど協力を求める。</li> <li>専門家の助言…近世・近現代をはじめとする文献史料や、絵図・地図、民俗文化財など各方面の専門家の協力を求める。</li> </ul> <p>2) 地域の文化財情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査で得られた成果は地域と共有することとし、公民館での発表、各種刊行物やWeb講座等で積極的に発信する。</li> <li>SNS等を通じて市域内外の若い世代や子供たちにも分かりやすい情報発信を行う。</li> </ul>
------	---

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
		<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館区ごとの古文書所在確認調査</li> <li>市内に存在する文書の調査・整理・目録作成。</li> <li>歴史史料の解読作業、松江市歴史叢書、松江市歴史史料集等の発刊</li> <li>Web講座の開催、HPやSNSによる歴史・史料情報の発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館区ごとの古文書所在確認調査</li> <li>市内に存在する文書の調査・整理・目録作成。</li> <li>歴史史料の解読作業、松江市歴史叢書、松江市歴史史料集等の発刊</li> <li>Web講座の開催、HPやSNSによる歴史・史料情報の発信</li> </ul>
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
財源内訳	事業費		8,548
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		672
	一般財源	0	7,876
歳入合計		0	8,548

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に残る歴史史料の調査と保存の措置、研究と活用が求められている。</li> <li>歴史史料に精通した専門的職員の配置が必須となっている。</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史史料（文献史学）に関する専門性を持つ職員を確実に配置する。</li> <li>「松江市歴史叢書」「松江市歴史史料集」等の刊行物の発刊を通して、史料調査の成果を活かすとともに、歴史史料に関するレファレンスにも対応する。</li> </ul>
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	年間	地域別文化財調査	随時	Web講座配信
	～8月末	歴史叢書原稿執筆		
	3月	歴史叢書発刊		
	随時	古文書写真撮影		

本事業に関する主要データ

「松江市文化財保存活用地域計画」に基づき、公民館区を単位とした地域別文化財調査を実施する。調査は地域史学習の主体である住民の参加を得て進め、成果は地域と共有する。

**地域別文化財調査**

公民館や学校を通じて、それぞれの地域から歴史を掘り起こしていく。



← 地域の協力

← 専門家の助言・指導

○ 古文書悉皆調査  
地域に残る歴史史料（古文書等）の所在確認を行うとともに、劣化防止や虫害対策など保存の措置を取る。

➔

**調査成果は地域と共有**



○ 講座の開催      ○ 刊行物の出版

↓

さらなる地域史学習へつなげるとともに、自分たちの住む地域に対する誇りと愛着を醸成する。

共創の状況	共催
-------	----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	3,624	委託料	517
職員手当等	740	使用料及び賃借料	49
共済費	780		
報償費	1,100		
旅費	249		
需用費	1,365		
役務費	124		
<b>事業費計</b>			<b>8,548</b>

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	松江の文化力次世代育成・継承事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	子ども達に伝統文化や文化芸術に触れる機会を提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することにより、松江の文化力の推進を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 松江の文化力への関心を高め、郷土愛の醸成を育み、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化や文化芸術の継承を図る。	講座・教室、イベント実施件数（件）		20	22	24
		講座・教室、イベント参加者数（人）		2,300	2,700	3,200

事業概要	（数値目標の目標年度） 講座・体験教室、体験イベント実施件数（件）：2024年（R6）年度 講座・体験教室、体験イベント参加者数（人）：2024年（R6）年度
	松江の文化力を生かしたまちづくり条例に規定する七つの柱の共通事業の一つとして取り組む事業。事業内容は、子どもや保護者が松江の文化力を知る機会を創出する「松江の文化力体験推進事業」と地域の伝統行事を支援する「松江の文化力継承事業補助金」。 【松江の文化力体験推進事業】 ○伝統文化や文化芸術の講座・体験教室・・・七つの柱にちなんだ講座や体験教室を開催するとともに、伝統文化芸術の指導者等を学校や公民館などに派遣し、講座・体験教室を開催する。 ○伝統文化や文化芸術を体験できるイベント・・・既存イベントに合わせて文化体験ができる機会を提供する。 【松江の文化力継承事業補助金】 ○地域の伝統行事への支援

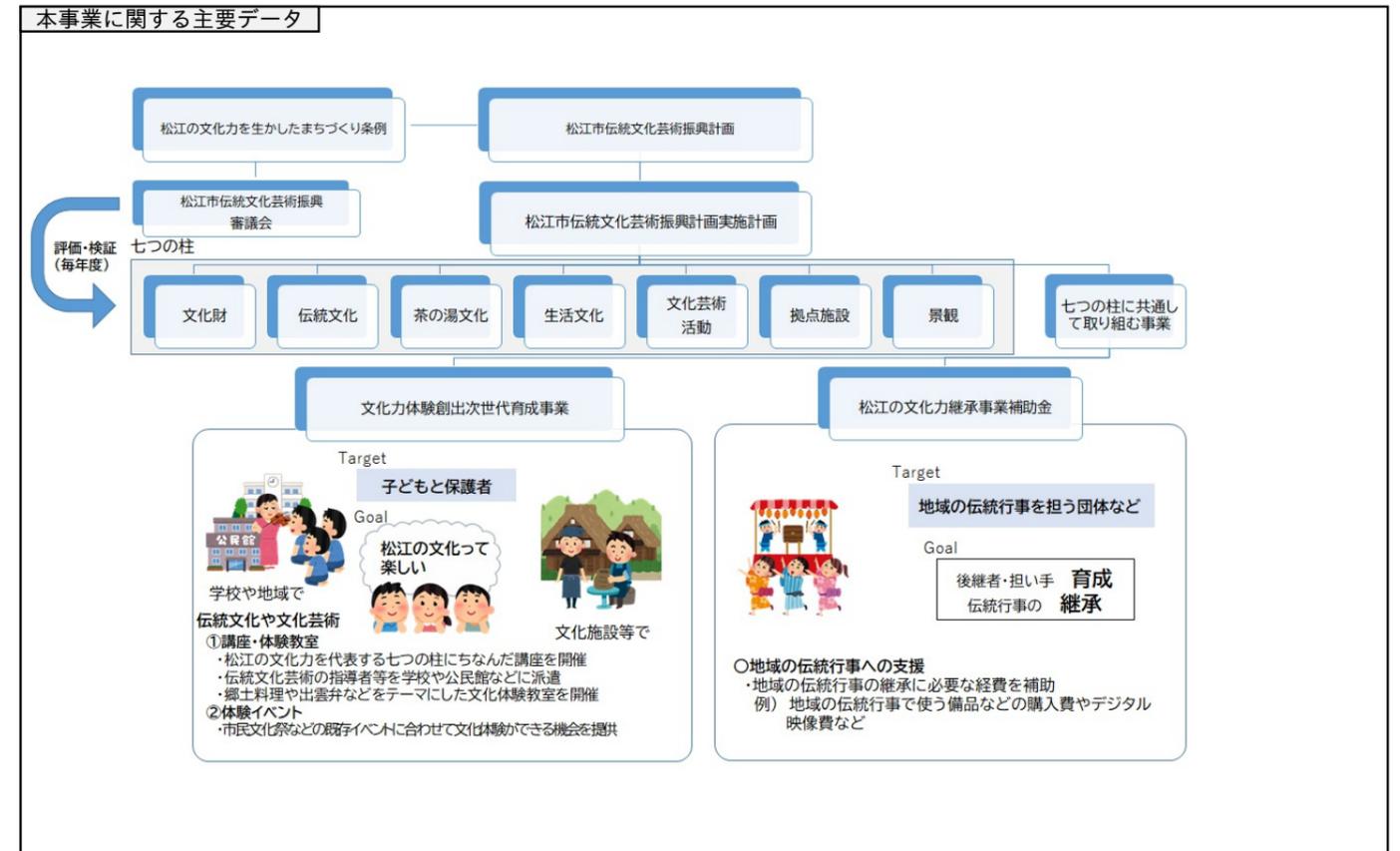
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
		<b>【松江の文化力体験推進事業】</b> ○伝統文化や文化芸術の講座や体験教室 ・17件開催 ○伝統文化や文化芸術の体験イベント ・年3回開催 <b>【松江の文化力継承事業補助金】</b> ・30団体に補助金交付	<b>【松江の文化力体験推進事業】</b> ○伝統文化や文化芸術の講座や体験教室 ・19件開催 ○伝統文化や文化芸術の体験イベント ・年3回開催 <b>【松江の文化力継承事業補助金】</b> ・30団体に補助金交付
	達成度		

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		5,763
国・県支出金		0
地方債		
その他		4,263
一般財源	0	1,500
歳入合計	0	5,763

課題	松江の文化力体験推進事業と実施計画を策定する過程において実施した市民アンケートや活動団体等へのヒアリングでは、どの分野においても後継者不足や次世代への継承など共通の課題があった。 また、市民が伝統文化芸術に触れる機会、特に子ども達に触れる機会の取り組みが少ないことが分かった。	方向性	子ども達を中心に、松江の文化力を知り、楽しんで体験する機会を提供することで、松江の文化力への関心を高め、郷土愛の醸成を育み、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。将来的には定住やUターンにつなげる。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	講座・体験教室の開催		
	通年	体験イベントの開催		
	通年	補助金の申請受付、交付		



共創の状況	委託
-------	----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	4,263		
負担金補助及び交付金	1,500		
事業費計			5,763

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	史跡田和山・神後田遺跡史跡等取得事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	史跡田和山・神後田遺跡の指定地（R4年4月追加指定決定予定）について、遺跡の保護と将来への継承を円滑に行うため。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	土地取得面積（㎡）		4,493	3,089	
	史跡追加指定地の公有地化を行う。					

事業概要	史跡田和山・神後田遺跡の指定地（R4年4月追加指定決定予定）にかかる公有地化を実施する。
------	--

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
		追加指定地8,140.36㎡のうち民有地4,493㎡の公有地化を実施する。	追加指定地8,140.36㎡のうち民有地3,089㎡の公有地化を実施する。
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		76,320
	国・県支出金		66,143
	地方債		9,100
	その他		0
	一般財源	0	1,077
	歳入合計	0	76,320

課題	追加指定地は現在民有地であり、遺跡の適切な保護・活用を将来行っていくことが困難である。	方向性	公有地化することにより、将来永劫の遺跡保存、幅広い活用が実現する。
----	---	-----	-----------------------------------

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月	用地測量・補償物件調査		
	3月	土地取得		

本事業に関する主要データ



神後田遺跡集落では、丘陵のまわりを取り囲む環壕が見つかっていました（写真右）。田和山遺跡でも同じような環壕が見つかっていました。田和山遺跡の環壕は3重ですが、神後田遺跡は1重です。時期は田和山遺跡と同時期です。このように近距離に二つの環壕がある地域は全国でほとんど見つかっていません。



共創の状況	委託
-------	----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	4,994		
公有財産購入費	67,845		
補償補填及び賠償金	3,450		
公課費	31		
事業費計			76,320

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	伝統的建造物群保存地区検討事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	美保関町美保関の美保神社周辺に残る歴史的なまちなみの保存・活用を通して、住環境や景観の向上を図り、地区の生活や生業、伝統行事等を後世へ継承する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	数値目標とすることに馴染まない。				
	重要伝統的建造物群保存地区の選定と補助制度導入による歴史を活かしたまちづくり					

**事業概要**

①伝統的建造物群は、文化財保護法により「周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いもの」とされる文化財である。市が伝統的建造物である建築物や工作物と共に、これと景観上密接な関係にある樹木、池、石垣等を特定し、これらを含む歴史的なまとまりをもつ地区を、「伝統的建造物群保存地区」（伝建地区）として決定し保存を図る。そのうち、市から国へ申出をし、わが国にとって特に価値が高いと判断されると「重要伝統的建造物群保存地区」（重伝建地区）に選定され、地区内の建築物等の修理・修景、防災事業等の経費の補助を受けることができ、歴史的資源をいかしたまちづくりを行うことができる。

②美保神社の周辺地区の歴史的なまちなみについて、伝統的建造物群及びこれと一体をなす周囲の環境の歴史的風致の固有性を明らかにし、保存・活用構想の策定を行うため、国庫補助事業で「保存対策調査」を実施し、伝建地区の決定に向けた住民の合意形成を図る。

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	① 5地区の区長への説明会：6月 ② 住民説明会（5地区）及び住民アンケート：11月 ③ 県、文化庁との補助事業協議 ④ 5地区の区長による令和4年度事業合意：1月	① 住民座談会（勉強会、調査経過報告等） ② おかえりカフェ（意見交換の場） ③ 住民先進地視察・島根県大田市温泉津地区・広島県呉市豊町御手洗地区・広島県竹原市竹原地区 ④ 文化庁補助事業「保存対策調査」（2か年の1年目） ⑤ 条例案・審議会設置準備	① 住民座談会（勉強会、調査経過報告等） ② おかえりカフェ（意見交換の場） ③ 住民先進地視察 ④ 文化庁補助事業「保存対策調査」（2か年の2年目） ⑤ 条例案・審議会設置準備
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R3 決算見込	R4 当初予算
事業費	139	2,761
国・県支出金		1,034
地方債		
その他		0
一般財源	139	1,727
歳入合計	139	2,761

**課題**

①住民のまちづくり議論による合意形成が最優先である。

②重伝建地区では住民の権利制限が生じるため、修理等の保存活用基準を定める段階では住民の主体的参画と理解が必要である。

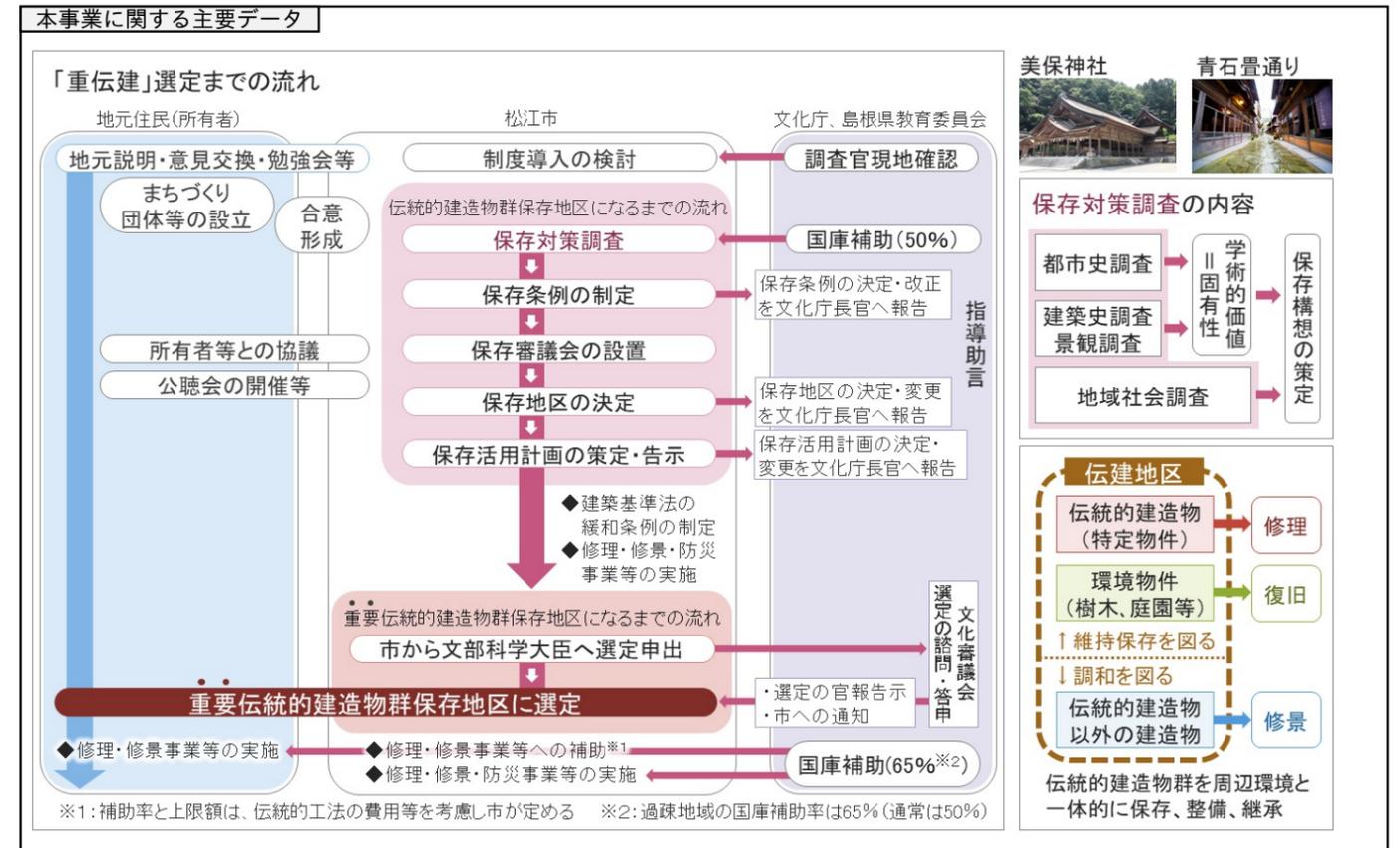
【制限】 建造物等の現状変更に対する規制ほか  
 【支援】 財政支援（建物修理や修景・防災事業等）、税制優遇（固定資産税等の減免）ほか

**方向性**

◆地区の30年後を見据え、重伝建制度導入による定住・交流人口の確保、産業・伝統行事の継承などの効果を目指す。  
 【R4～5】 住民による先進地視察、座談会、文化庁保存対策調査  
 【R5～6】 保存条例制定、審議会設置  
 【R6～7】 保存地区決定、保存活用計画策定、国へ重伝建地区選定の申出  
 【R7～8】（想定）国から重伝建地区選定、事業着手

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	おかえりカフェ（意見交換の場）	9月～10月	住民先進地視察（呉市御手洗地区、竹原市竹原地区）
	5月	区長会協議	11月～12月	住民先進地視察（大田市温泉津地区）
	6月～12月	保存対策調査		
	6月～2月	住民座談会（勉強会、調査経過報告会等）		



共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	54		
旅費	208		
役務費	31		
委託料	2,070		
使用料及び賃借料	398		
事業費計			2,761

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	国際文化観光都市・松江・森の演劇祭事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	演劇を通じた文化振興、地域づくりを推進する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		観客数（人）		5,000		5,000
	目標（何を達成するのか）	来場者数（人）		13,000		13,000
国内外の多様で創造的な演劇作品に触れる機会を創出する。						

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金交付		
	11月	第7回松江・森の演劇祭開催		
	3月	補助事業完了		

事業概要	<p>■松江・森の演劇祭 八雲林間劇場（しいの実シアター）を中心に、平成14年から国内外の劇団を招いて開催される国際演劇祭。概ね3年毎に開催。演劇のほか、マルシェも開催され、賑わいを創出。 主催（補助金交付先）：松江・森の演劇祭実行委員会</p>
------	---

本事業に関する主要データ			
<過去の開催実績>			
	第4回(H22)	第5回(H26)	第6回(H29)
期間	11/3~7	10/30~11/3	11/2~5
観客数	4,267人	5,040人	5,156人
来場者	10,955人	13,262人	12,486人
公演数	6か国11劇団14公演	6か国11劇団14公演	5か国14劇団15公演
※第7回を令和2年に開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、2年延期とした。			

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	<p>■「第7回松江・森の演劇祭」開催準備事業補助金交付 【交付先】 松江・森の演劇祭実行委員会</p>	<p>■「第7回松江・森の演劇祭」開催補助金交付 【交付先】 松江・森の演劇祭実行委員会</p> <p>会場：しいの実シアター かやぶき交流館 他 会期：令和4年11月5日~14日 公演：4か国 11劇団 12作品</p>	<p>■「第8回松江・森の演劇祭」開催準備補助金交付 交付先：松江・森の演劇祭実行委員会</p>
	<p>達成度</p> <p>1 計画目標に向けて順調に推移</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
事業費		2,500	15,000
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債		
	その他	0	12,000
	一般財源	2,500	3,000
歳入合計		2,500	15,000

課題	<p>前回までは会場が分散し、観客や関係者の移動、スタッフの確保など運営上の課題があった。</p>	方向性	<p>平原地区の「森の演劇ゾーン」整備により、しいの実シアターを中心に平原地区内でコンパクトに開催する一方で、期間を10日程度に長くし、観客、スタッフ、ボランティアなど多くの人に関わり、楽しめる演劇祭とする。</p>
----	---	-----	--

共創の状況	実行委員会
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	15,000		
事業費計		15,000	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	わがまち自慢発掘プロジェクト事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域の歴史文化を伝え残していきたい大切な遺跡などの“お宝”を地図に表現し、広く市民や観光客に紹介することで、地域の歴史文化に対する関心や地域への愛着心を醸成する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	<b>目標（何を達成するのか）</b> まち歩きに参加し、地域の歴史文化に関心を持つ人の増加 まち歩きマップを活用し、まち歩きイベントを実施している公民館数の増加	歴史まち歩き参加者数（年間／人） 182	240	240	400	
	まち歩きを開催する公民館数（年間／件） 6	6	6	10		

**事業概要**

①公民館区毎に作成した地域の“お宝”を掲載する「まち歩きマップ」について、継続して地区活動や市民参加型活動に活用できるように、マップの増刷を支援する。（実施主体は公民館区域ごとのプロジェクトチーム：市は補助金を支出）

②マップを活用した歴史まち歩き事業を市と地域が共同で開催する。住民主体の運営・参加によるマイクロツーリズムの展開を目指す。

（数値目標の目標年度）R11（2029）年度

	R3実績見込	R4計画	R5計画
<b>事業計画</b>	①「まち歩きマップ」増刷補助（6公民館） ②「歴史のまち歩き」を市と公民館で共同実施 ・R2マップ増刷の6地区 雑賀、古江、朝酌、城北、白濁（参加者数182人）	①「まち歩きマップ」増刷補助（3公民館／宍道、法吉、乃木） ②「歴史のまち歩き」を市と公民館で共同実施 ・R3マップ増刷の6地区 忌部、大野、美保関、八雲、鹿島、大庭（見込参加者数240人）	①「まち歩きマップ」増刷補助（3～6公民館） ②「歴史のまち歩き」を市と公民館で共同実施 ・R4マップ増刷地区を含めた3～6地区（見込参加者数240人）
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,067	1,053
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,067	1,053
歳入合計		1,067	1,053

課題	方向性
①まち歩きイベントの参加者の割合は高齢者が多いが、広い世代の参加につながる企画と周知が必要である。 ②申込者にはリピーターが増えているが、新規参加者の獲得も必要である。 ③地元ガイドの件費や運営経費を捻出するため、参加料を徴収するなど財源を確保する必要がある。	①コロナ禍中でマイクロツーリズムが注目され、地域を学び散策したいというニーズが高まっているため、歴史文化をテーマにしてこれに依っていく。 ②歴史文化をテーマごとや時代ごとに分けるなど、様々な人が地域に興味を持てるようまち歩きのスタイルを広げていく。 ③地域物産や特産品を、将来の地域資源・文化財になり得るものとして、まち歩きに取り入れ、地域の新たな魅力を創出する。 ④参加者アンケートに基づいて適正な参加料を設定し、サービスの質を高める。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～5月	増刷実施地区の選考		
	6～9月	まち歩きマップの記載内容の確認・修正		
	10～2月	まち歩きマップの増刷、補助金の支払い		
	4月～3月	まち歩き事業の実施（6地区）		

**本事業に関する主要データ**

歴史のまち歩き事業の実績及び参加者(人)

	R3							R4						
	雑賀	古江	秋鹿	朝酌	城北	白濁	計	忌部	大野	鹿島	大庭	美保関	八雲	計
参加者	29	16	37	39	23	38	182	25	37					
申込者	37	34	50	47	61	77	306	41	45					

歴史のまち歩き事業計画(人)

	R4(予定)							R5(予定)						
	忌部	大野	鹿島	大庭	美保関	八雲	計	法吉	宍道	乃木	大庭	未定	未定	計
参加者	40	40	40	40	40	40	240	40	40	40	40	40	40	240

増刷要望地区状況

	R3					R4			
	忌部	大野	鹿島	美保関	八雲	大庭	宍道	法吉	乃木
作成年度	H25	H25	H22	H22	H23	H22	H22	H23	H25
増刷年度	-	-	H26	H24	H26	-	-	H27	-
年間使用数	600	200	150	100	200	150	-	100	150
部数	400	160	300	29	350	150	0	950	365



↑(例)忌部まち歩きマップ



↑歴史まち歩きチラシ



↑大野地区まち歩きの様子

まち歩き関連事業の実績及び予定(公民館区数…地区)

	マップ増刷	案内板設置
H22`R1	18	22
R2	6	0
R3	6	2
R4	3	1

マップ補助率

- ・補助率 10分の10
- ・上限額 30万円(1地区あたり)

案内板補助率

- ・補助率 10分の10
- ・上限額 100万円(1地区あたり)

共創の状況
-------

R4節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	117		
需用費	10		
役務費	26		
負担金補助及び交付金	900		
事業費計		1,053	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部埋蔵文化財調査課	石垣修理事業費（継続費）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	・崩落の危険性が高い石垣の修理を年次的に行い、石垣の保全を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		石垣修理（解体）面積（㎡）	0	0	61	2,578
	目標（何を達成するのか）	石垣修理（積上）面積（㎡）	0	45.2	61	2,597
	・市民の歴史学習の場として史跡松江城を整備するとともに、貴重な文化遺産として後世に保存・継承していく。 ・松江における歴史的風致の核として、その価値を向上させる。	石垣修理（積上）進捗率（%）	78	80	81	100

事業概要  
 ・崩落の危険性がある興雲閣の南側に位置する月見櫓下石垣の解体修理工事（5年目/5ヵ年計画）を実施する。今年度は平成30年度に解体した石垣（49.0㎡）の積み上げ工事を実施し、また、これに伴う施工監理の業務委託も実施する。

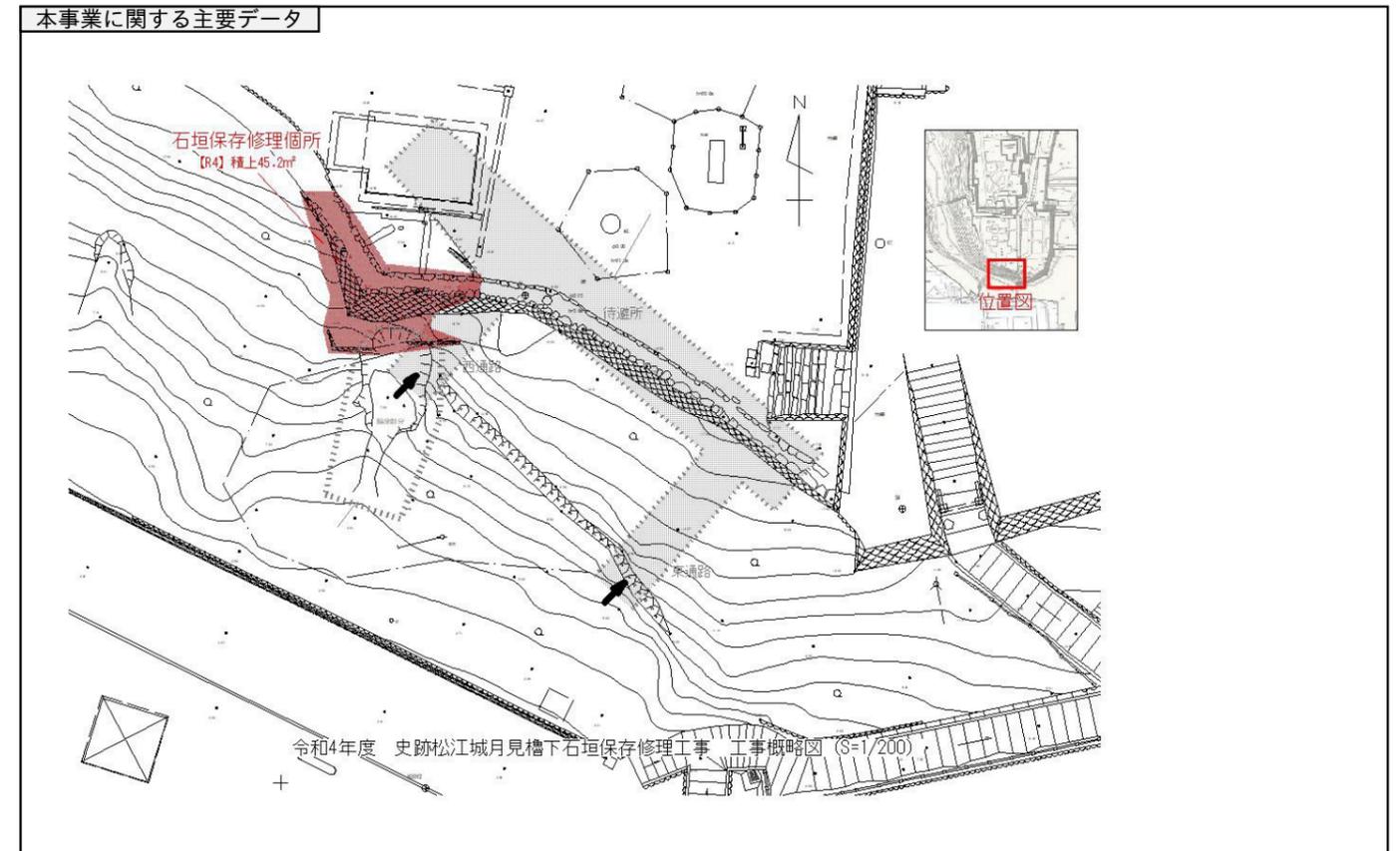
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>【R2繰越】月見櫓下石垣基礎地盤で発見された防空壕の空洞充填工事及び陥没部分の造成工事を実施した。</li> <li>R4年度月見櫓下石垣の保存修理工事に向けた準備を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月見櫓下石垣の保存修理工事を実施し、当年度は石垣の立面積で45.2㎡の積上工事を行う。また、これに伴う施工監理業務委託も実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本丸弓櫓下石垣の保存修理工事（61㎡）を実施する。また、これに伴う施工監理業務委託も実施する。</li> <li>三之丸北東石垣の保存修理工事に伴う実施設計業務委託及び発掘調査を実施する。</li> </ul>
	達成度		
2	計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	454	13,868
	国・県支出金	298	9,245
	地方債	100	4,100
	その他	0	
	一般財源	56	523
歳入合計		454	13,868

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>危険個所の石垣を年次的に修理しているが、各年次の予算を平準化すると各石垣の修復が年度をまたぐことになり、城内での通行規制等も長期化する可能性がある。</li> <li>石垣の解体等により埋没していた遺構等が発見されるなど、当初予定の変更を余儀なくされるケースがある。</li> </ul>	事業実施に際し、公園としての安全性を最優先としつつ、貴重な文化財としての取り扱いや活用について十分に検討し、想定外の事案にも関係機関と連携して柔軟に対応したうえで、円滑な進捗を目指す。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～9月	月見櫓下石垣保存修理工事		
	4月～9月	施工管理業務委託		



共創の状況	協議会
-------	-----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,812		
工事請負費	12,056		
事業費計		13,868	

# 令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	史跡松江藩主松平家墓所整備事業費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	史跡松江藩主松平家墓所は、樹木による遺構の毀損、建築物の老朽化、排水施設の機能不全などの課題を抱えている。文化財の本質的価値を将来に亘って望ましい状態で保存し、公開活用するための整備を行う。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	<b>目標（何を達成するのか）</b> ・近世大名家墓所としての価値を保存するための復旧整備を行う。 ・文化財的価値が損なわれない範囲で公開活用の整備を行う。	数値目標とすることに馴染まない。				

事業概要
【全体計画】 宗教法人月照寺が行う整備事業に対して、国・県とともに市として補助を行う。 ■整備基本計画（R2.3月策定）に基づく整備を行う。 ・文化財の本質的価値を保存するための整備（近世から残る建造物・構造物の保存修理、危険木の伐採、排水施設整備など） ・文化財を公開活用するための整備（環境整備、植生の整理、便益施設・サイン等の整備など） ■整備検討委員会を開催し、整備に関する指導を受ける。 事業期間は12年、総事業費は491,203千円で、負担割合は国1/2・県1/6・市1/6・所有者1/6を予定。ただし、県補助対象は保存または修理に関する事業のみ。 【事業費】 平成30年度（実績）：11,667千円（うち市負担：1,971千円）      令和元年度（実績）：17,738千円（うち市負担：3,515千円） 令和2年度（実績）：32,336千円（うち市負担：5,967千円）      令和3年度（見込）：51,544千円（うち市負担：8,545千円） 令和4年度（見込）：48,264千円（うち市負担：8,044千円）

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	・御霊屋保存修理工事（3ヵ年計画の2年目） ・水路修復工事 ・支障木伐採工事 ・整備検討委員会の開催	・御霊屋保存修理工事（3ヵ年計画の3年目、6月竣工） ・水路修復工事 ・支障木伐採工事 ・五代廟門保存修理工事 ・石造物修復工事 ・参道修復工事実施設計 ・初代廟門土堀保存修理工事実施設計 ・整備検討委員会の開催	・参道修復工事 ・初代廟門土堀保存修理工事 ・整備検討委員会の開催 ・廟所及び後背地木伐採工事実施設計 ・各廟門及び七代建廟門連子堀等造物調査 ・水路修復工事
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
事業費		8,545	8,044
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	8,545	8,044
	歳入合計	8,545	8,044

課題	方向性
・月照寺をはじめ所有者が民間の場合、国庫補助事業を施行するノウハウがないため、所有者の意向に沿って、市が全面的な支援を行わざるを得ない。 ・計画的な整備と所有者負担の軽減のため、国、県からの補助金などの財源確保が必要である。	・整備基本計画に基づき整備を進めることで、史跡としての価値を保存するとともに、公開活用を図る。 ・整備のための財源確保と所有者へのサポートを行う。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～6月	御霊屋保存修理工事	9～3月	石造物修復工事
	4～2月	水路修復工事	10～2月	参道修復工事実施設計
	4～2月	支障木伐採工事	10～2月	初代廟門土堀保存修理工事実施設計
	9～3月	五代廟門保存修理工事	8月、2月	整備検討委員会開催

### 本事業に関する主要データ

共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	8,044		
事業費計			8,044

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	重文木幡家住宅保存修理（第1期）事業費補助金ほか2事業

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	重要文化財木幡家住宅の指定建造物13棟は、経年劣化の進行が顕著となっているため、保存修理を実施する。合わせて防災設備の整備を実施することで、その文化財価値を後世に確実に引き継ぐ。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	数値目標とすることに馴染まない。				
	保存修理及び防災施設整備を行うことにより、その文化財価値を確実に後世に引き継ぐとともに、更なる活用に供する。					

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4、2月	補助金交付決定	7～3月	防災施設整備工事
	4、6、12月	修理委員会	7、12月	文化庁現地指導
	4～12月	保存修理（第1期）工事	2～3月	保存修理（第2期）工事
	4～5月	防災事業の実施設計	4月	実績報告

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保存修理（第1期）事業：令和1～4年度実施 蔵4棟（新蔵・米蔵・三階蔵・資材蔵）の保存修理事業（資材蔵は解体まで）について、国・県とともに市として補助を行う。 総事業費 237,420千円、令和4年度 事業費 73,430千円（内、市負担額 3,672千円）</li> <li>●保存修理（第2期）事業：令和4年度～実施 主屋・新座敷棟・飛雲閣・新奥座敷棟・奥座敷棟・湯殿・御成門・行啓門・資材蔵・裏門の保存修理事業について、国・県とともに市として補助を行う。 令和4年度 事業費 10,000千円（内、市負担額500千円）</li> <li>●防災施設整備事業：令和4年度実施 蔵3棟（新蔵・米蔵・三階蔵）の警報設備の整備を行い、国・県とともに市として補助を行う。 令和4年度 事業費 13,310千円（内、市負担額1,332千円）</li> </ul>
------	--

本事業に関する主要データ

【木幡家住宅 新蔵ほか3棟】

(修理前の状況)

・新蔵



・米蔵



・三階蔵



・資材蔵



(保存修理工事の状況)









事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計監理</li> <li>・蔵3棟の保存修理工事</li> <li>・資材蔵の解体調査工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計監理</li> <li>・蔵3棟の保存修理工事</li> <li>・堀等の解体調査工事</li> <li>・自動火災報知設備設置工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計監理</li> <li>・主屋ほか9棟の保存修理工事</li> </ul>	
	達成度			
	2	計画目標に向かって概ね順調		

共創の状況	補助・助成
-------	-------

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R3	R4
	決算見込	当初予算
事業費	2,732	5,504
国・県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	2,732	5,504
歳入合計	2,732	5,504

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	5,504		
事業費計		5,504	

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度後期から実施予定の第2期事業では、10棟の建造物の修理が必要であり、さらに保存修理工事とあわせて、防災施設等整備工事、活用設備等整備工事を行う必要がある。所有者にも大きな負担がかかる。</li> <li>・第2期事業の修理方針の決定に合わせ、保存活用計画（敷地全体の防災計画、修理後の活用計画等）をまとめる必要がある。</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助事業を確実に履行するために、修理委員会にてスムーズかつ適切な事業実施のための所有者のサポートを行う。</li> <li>・所有者の意向を各種計画に確実に反映させるために、国、県、市、設計監理業者間で密に連携をとり、保存活用計画の概要をまとめる。</li> </ul>
----	---	-----	---

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	歴史的建造物保全継承事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	歴史的なまちなみを形成している古い建造物（歴史的建造物）の滅失を防ぐために、所有者との協働により保全継承し活用することで、歴史的資源を生かしたまちづくりを進める。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		歴史的建造物登録数（件）	2	1	1	20
	目標（何を達成するのか）	2次調査数（件）	2	0	0	70
	歴史的建造物登録認定数 20件					

**事業概要**

①市内にある指定文化財以外の歴史的建造物のうち「松江市歴史的風致維持向上計画」の重点区域である旧城下町エリア・美保関エリア・宍道エリアにあるもの及び国の登録有形文化財を対象として、保全継承し活用を図る。  
 ②建物調査の結果をもとに、所有者の同意を得て「松江市歴史的建造物保全活用審議会」で調査審議し登録を行う。  
 ③登録後、市と所有者で保全契約を締結し、所有者が行う外観保全等にかかる工事費の一部を補助する。  
 ④活用について、個々の建造物をまち歩きコースに設定するなど面的に広げ、併せてまち歩きガイドなどの人材育成を図り、歴史的資源を生かしたまちづくりを進めていく。  
 ⑤ヘリテージマネージャー（地域に眠る歴史文化遺産を発見し、保存し、活用して、地域づくりに活かす能力を持った人材）や関係団体との連携を強化する。  
 （数値目標の目標年度）R11（2029）年度

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	①歴史的建造物の登録【2件】 ・石川屋（石橋町） ・福田平治・与志記念館（北田町） ②修繕工事補助【1件】 ・旧料亭久の家（東本町） ③建造物2次調査【2件】 ・旧城下町エリア2件 ④審議会の開催（12月）	①歴史的建造物の登録【1件】 ②修繕工事補助【2件】 ③審議会の開催（12月～1月） ④歴史的建造物一斉公開イベント【美保関エリア】（9月）	①歴史的建造物の登録【1件】 ②修繕工事補助【2件】 ③審議会の開催（12月～1月） ④歴史的建造物一斉公開イベント【旧城下町エリア】
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	4,202	6,332
	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	2,882	6,040
	一般財源	1,320	292
歳入合計		4,202	6,332

**課題**

①歴史的建造物の空き家化や除却により良好なまちなみ環境が損なわれる状況があるため、引き続き所有者の理解を得て登録及び保全継承を図る必要がある。  
 ②登録した歴史的建造物については、所有者による保全と有効な活用策を支援していく必要がある。  
 ③財源である「松江市歴史まちづくり基金」が枯渇した後（令和12年度見込）の代替策を検討する必要がある。

**方向性**

①歴史的建造物の登録を進め、所有者に対する外観保全等の修繕費の補助を行うことで、良好なまちなみ環境を維持向上させる。  
 ②所有者と共に登録歴史的建造物の活用を図り、歴史的資源を生かしたまちづくりを進める。  
 【活用事例】  
 ○歴史的建造物を巡るまち歩き  
 ○宿泊施設（一棟貸し等）  
 ○商業施設（飲食、物販等）

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	登録候補の募集・事前協議	12月～1月	歴史的建造物保全活用審議会開催
	4月～3月	登録歴史的建造物の修繕工事補助	1月～2月	歴史的建造物の登録手続き
	5月～9月	歴史的建造物の2次調査・過去の資料精査	3月	保全契約締結
	9月	歴史的建造物一斉公開イベント		

**本事業に関する主要データ**

■令和3年度 松江市登録歴史的建造物

エリア	旧城下町（石橋町）	旧城下町（北田町）
名称	石川屋	福田平治・与志記念館（旧愛隣会館）
写真		

■登録実績 (単位：件)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	計
旧城下町エリア	3	2	2	2	-	2	11
美保関エリア	-	3	-	-	2	-	5
宍道エリア	-	-	-	-	-	-	0
上記エリア以外の登録有形文化財	-	-	1	-	-	-	1
合計	3	5	3	2	2	2	17

■改修・活用事例

美保関 満延舎（はまのや） / 平成30年度改修
屋根・外壁・建具等を改修し、一棟貸しの宿として活用


■調査実績 (単位：件)

	1次調査 (外観目視)	2次調査 (実測・作図)
	H26～H28	H26～R3
旧城下町エリア	783	23
美保関エリア	88	17
宍道エリア	76	15
登録有形文化財	-	2
合計	947	57

■修繕補助金交付の推移（松江市登録歴史的建造物保全継承事業補助金）R4以降は見込 (単位：千円)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
補助件数	0	1	3	3	2	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	
補助金額（千円）	0	784	9,493	6,222	6,000	2,882	6,000	6,000	6,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	1,702	

【内容】登録歴史的建造物の外観保全等に係る工事費の補助  
 1件当り建造物 上限額3,000千円、工作物 上限額2,000千円 / 補助率3分の2

共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	41		
報償費	46		
旅費	26		
需用費	3		
役務費	13		
委託料	203		
負担金及び交付金	6,000		
事業費計		6,332	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江城・史料調査課	文化財情報デジタル化推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「誰もが松江の歴史文化を誇りに思い、こころ豊かになれるまち」実現のため、豊富な松江市の文化財の魅力を、子どもから高齢者まで、障がいのある人にもより分かりやすく、デジタル技術を通じて発信し伝えていく。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		松江城天守登閣者数【4月～3月】（人）	177,482	445,000	450,000	500,000
目標（何を達成するのか）	松江歴史館観覧者数【4月～3月】（人）	28,760	51,000	52,000	60,000	
	・デジタル技術を通じて文化財情報の見える化を推進する。 ・文化財行政におけるデジタル人材の育成を推進する。					

事業概要	(数値目標の目標年度)
	<p>項目名 松江城天守登閣者数：2029(R11)、項目名 松江歴史館観覧者数：2029(R11)</p> <p>令和3年3月に連携協力協定を締結した同志社大学文化遺産情報科学調査研究センターと共同で、AR・VRなどのデジタル技術を活用した文化財情報の発信を行う。あわせて、同センターの指導の下、文化財行政におけるデジタル人材の育成を図る。</p> <p>1) 松江城天守VRソフト作成・設置 ・松江城天守VRソフトを作成、設置し、天守登閣が難しい人にも登閣体験ができるバリアフリー環境の実現を図る。</p> <p>2) 地域の文化財デジタル化推進 ・地域の文化財のデジタル化を通じた見える化を地域住民と共に進め、歴史文化に対する誇り醸成を図る。</p> <p>3) 文化財デジタル人材育成 ・発掘調査や、松江歴史館館蔵品のデジタル化を自ら進めることのできる職員育成を行う。</p>

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○松江城天守VRソフトの作成・設置</li> <li>○地域の文化財のデジタル化推進</li> <li>○デジタル人材育成の推進</li> </ul> <p>いずれも、同志社大学文化遺産情報科学調査研究センターとの共同研究による。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○松江市南郊遺跡群のデジタル化（AR）の推進</li> <li>○松江歴史館館蔵品のデジタル化</li> <li>○発掘調査へのデジタル手法導入の推進</li> </ul>
	達成度		

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R3 決算見込	R4 当初予算
事業費	0	1,801
国・県支出金	0	0
地方債	0	0
その他	0	0
一般財源	0	1,801
歳入合計	0	1,801

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業推進にあたっての市役所内部での体制整備が必要。</li> <li>○地域住民参加の仕組みづくりが必要。</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財セクション横断的なチーム編成を行い、各分野でデジタル技術の活用を図る。</li> <li>○地域の文化財情報のデジタル化の実施にあたっては、公民館を中心とする地域住民を巻き込む仕組みづくりを進める。</li> </ul>
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	文化財情報デジタル化推進事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	同志社大学による現地調査・職員指導	7月	松江城天守VR設備購入・設置
	随時	地域の文化財デジタル化推進	8月	松江城天守VRソフト試験運用開始
	随時	松江歴史館の館蔵品のデジタル化推進		
	4～6月	松江城天守VRソフト作成		

本事業に関する主要データ

**松江の歴史文化をデジタル技術で誰にも分かりやすく伝える**  
～文化財情報デジタル化推進事業費～

「松江市文化財保存活用地域計画」で掲げる将来像“誰もが松江の歴史文化を誇りに思い、こころ豊かになれるまち”の実現に向けて、松江の豊富な文化財の魅力をAR・VRなどのデジタル技術を活用して発信し、より多くの人に伝える。

○AR・VR技術を活用した文化財情報の発信  
松江城天守VRソフトの作成・設置  
疑似登閣体験でバリアフリーにも貢献！

○デジタル人材の育成  
発掘調査などにおけるデジタル技術導入を進める  
全国に先駆け、文化財行政におけるデジタル人材育成を推進




<事業推進体制>  
日本における文化財情報のデジタル化で最先端を走る「同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター」（津村宏臣センター長）との共同研究に基づき事業実施。（令和3年3月 連携協力協定締結）

共創の状況	
-------	--

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	288		
旅費	721		
委託料	200		
備品購入費	592		
事業費計			1,801

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江城・史料調査課	国宝松江城調査研究事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「誰もが松江の歴史文化を誇りに思い、こころ豊かになれるまち」実現のため、けん引役として松江城の調査研究をより一層推進し、その価値を高め、広く発信し、行政各分野の施策にも積極的に貢献していく。	項目（成果指標） 松江城天守登閣者数【4月～3月】（人）	R3実績見込 177,482	R4計画 445,000	R5計画 450,000	目標値 500,000
	目標（何を達成するのか）					
	・調査研究による新たな事実の解明による学術的価値の向上。 ・正確かつ最新の調査研究成果の発信による知名度の向上。 ・関係市・県・研究者との共同研究による世界文化遺産登録の実現。					

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）                  項目名 松江城登閣者数：2029(R11)                  調査研究を通じて、松江城の学術的価値を高めるとともに、その成果を積極的に情報発信する。</p> <p>1) 調査研究事業                  ・松江城調査研究委員会を中心に、天守のみならず、城郭、城下町全体の調査研究を行う。</p> <p>2) 世界遺産登録推進事業                  ・松本市、犬山市で構成する近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会において、共同研究を行い、世界遺産登録推進を図る。</p> <p>3) 情報発信事業                  ・シンポジウム・講演会の開催、研究成果を分かりやすくまとめた書籍の発行を通じて、最新かつ正確な情報発信を行う。令和4年度は、近年の松江城研究の成果を全国発信することを目的に『松江城研究論集』を発刊する。</p>
------	---

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○松江城調査研究委員会の開催 ○建築史部会、城郭史部会、絵図・地図・文献部会での調査研究 ○松江城シンポジウムの開催 ○『松江城研究4』『松江城関係資料集 別編1』『松江城ブックレット5』の発刊 ○近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究	○松江城調査研究委員会の開催 ○建築史部会、城郭史部会、絵図・地図・文献部会での調査研究 ○『松江城研究論集』『松江城関係資料集5』『松江城ブックレット6』の発刊 ○アイコフォート国際会議への協力、日中韓共同研究への参加 ○近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究	○松江城調査研究委員会の開催 ○建築史部会、城郭史部会、絵図・地図・文献部会での調査研究 ○『松江城研究5』『松江城関係資料集6』『松江城ブックレット7』の発刊 ○アイコフォート日中韓共同研究会の松江開催 ○近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究
	達成度	1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R3	R4
	決算見込	当初予算
事業費	14,545	14,556
国・県支出金	0	0
地方債	0	0
その他	75	75
一般財源	14,470	14,481
歳入合計	14,545	14,556

課題	方向性
○世界遺産登録を見据えた世界的見地からの調査・研究が求められる。 ○松江城に関する調査研究レベルの維持向上のための継続的な取り組みが必要。	○国際会議の松江開催や、外国語媒体の書籍刊行などを通じて、調査研究に国際的な視点を取り込む。 ○基礎研究を継続的に実施し、その成果を広く発信し、観光など市政全般にも反映させる。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	国宝松江城調査研究事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	松江城調査研究委員会 専門部会での個別調査	2月	各出版物刊行
	5月	世界遺産登録推進会議準備会 総会		
	7月～2月	世界遺産登録推進会議準備会 専門家会議 (WG) 3回		
10月	松江城調査研究委員会			

本事業に関する主要データ

### ふるさとの宝 松江城を 世界の宝へ

「ふるさとの宝 松江城」の価値を高め、子どもや孫の世代に確実に守り伝える取組を行っています

**価値を高める取組**

<目指せ！世界遺産>

①「近世城郭の天守群」として、松江城を含む**国宝5城天守の世界文化遺産登録**を目指して、同じく**国宝天守**を持つ松本市、犬山市と共同で調査研究を行っています。

②**国宝指定**にも貢献した研究者と共に地道な基礎研究を進めています。

**守り伝える取組**

<確実に守り伝える>

①～地震に負けない～**国宝天守の耐震補強工事**を実施しました。

②～火災から守る～**国宝天守の防火施設整備**を行います。

③計画的に**石垣修理**を行っています。

④**国宝天守の「令和の大修理」**を検討しています。

これらの取組を市民の皆様と共に進めます！

令和2年5月15日 市民団体「**松江城を守る会**」設立（藤岡大拙会長・個人会員 約500名）  
**より多くの皆様のご加入をお待ちして**

**価値を高める取組**

<目指せ！世界遺産>

①「**近世城郭の天守群**」として、松江城を含む**国宝5城天守の世界文化遺産登録**を目指して、同じく**国宝天守**を持つ松本市、犬山市と共同で調査研究を行っています。

②**国宝指定**にも貢献した研究者と共に地道な基礎研究を進めています。

共創の状況	協議会
-------	-----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,812	負担金補助及び交付金	3,559
職員手当等	370		
共済費	360		
報償費	3,222		
旅費	1,760		
需用費	3,373		
役務費	100		
事業費計			14,556

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江歴史館	松江歴史館展示企画事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江の歴史・文化に関わる展覧会の開催などにより、松江の新たな魅力を発信することで、郷土愛の醸成を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		松江歴史館観覧者数（人）	28,760	51,000	52,000	60,000
	目標（何を達成するのか）					
	調査研究成果を活かした魅力ある展覧会の開催。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 松江歴史館観覧者数（人）：2029（R11）年度 60,000人
	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を年4回開催する。 このうち、特別展はその年度の最も規模の大きな展覧会である。 企画展では県外の普段見られない資料や地元の資料を中心に展示する。 また、年1回は館蔵品展を開催する。 なお、年1回は国の指定文化財である国宝や重要文化財(重文)の展示を行う。

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	〔特別展・企画展〕 ①企画展「開校100周年記念企画展 旧制松江高等学校一松江で学び、暮らした学生たち」 ②館蔵名品展「これまで、これから一所蔵品一挙公開」 ③特別展「戦国の世を馳せた武将 堀尾吉晴」 ④企画展「松江藩と絵図一花開いた地図の世界」	〔特別展・企画展開催予定〕 ①企画展「出雲の民藝一『健康な美』を求めて一」 ②企画展「松江今昔一美術と文学にみる風景のうつろい一」 ③特別展「古代出雲の中心地・松江一田和山・神後田から国府・国分寺へ一」 ④館蔵品展「平塚運一 いざ摺らん」	〔特別展・企画展開催予定〕 ①特別展「出雲地方と大雅」 ②企画展「みんなの小学校の歩み150年と教育者渡部寛一郎」 ③企画展「松江藩の漆工芸」 ④館蔵品展「明治時代のサムライたち」 ※いずれも仮題
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	14,807	16,863
	国・県支出金	0	3,135
	地方債	0	0
	その他	7,400	13,728
	一般財源	7,407	0
歳入合計		14,807	16,863

課題	観覧者にわかりやすく展示内容を伝えられるよう工夫する必要がある。 また、展覧会を広く周知できるよう、効果的な広報を行う必要がある。	方向性	県外への外出を控える状況下であり、より一層市民に関心を持ってもらえるように、調査・研究の成果をさらにわかりやすく展示をしていく。 また、公開承認施設の利点を活かして、国宝・重要文化財をはじめとする貴重な資料を展示し、歴史や文化に対する関心を高めていく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	松江歴史館展示企画事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～6月	企画展「出雲の民藝一『健康な美』を求めて一」		
	7月～9月	企画展「松江今昔一美術と文学にみる風景のうつろい一」		
	10月～12月	特別展「古代出雲の中心地・松江」		
	1月～4月	館蔵品展「平塚運一 いざ摺らん」		

本事業に関する主要データ	
令和4年度 松江歴史館 [企画展・特別展] 展示計画 (案)	
<p>●企画展「出雲の民藝一『健康な美』を求めて一」</p> <p>開催期間：4/28（木）～6/26（日）</p> <p>島根県の民藝運動は、昭和6年（1931）の「島根民藝診察」を嚆矢として活発に行われてきた。本展では、民藝運動の指導者・柳宗悦、バーナード・リーチ、河井寛次郎、濱田庄司らの作品をはじめ、松江・出雲で民藝運動に賛同した湯町黨や袖師黨などの代表的な作品を展示し、民藝運動の歩みについて紹介を行う。</p>	
<p>●企画展「松江今昔一美術と文学にみる風景のうつろい一」</p> <p>開催期間：7/22（金）～9/25（日）</p> <p>松江には小泉八雲や芥川龍之介といった著名な文筆家たちが訪れ、その印象を随筆に遺した。また郷土の画家、写真家など芸術家たちによって、松江城や宍道湖などの名所のみならず、里山や港のようすなども表現されてきた。本展では松江を描写した芸術作品を通して、松江の今と昔を顧みる。</p>	
<p>●特別展「古代出雲の中心地・松江一田和山・神後田から国府・国分寺へ一」（地域ゆかりの文化遺産を活用した展覧会支援事業（1/2補助））</p> <p>開催期間：10/14（金）～12/11（日）</p> <p>近年、三重環濠を有する田和山遺跡の近隣から、同じく環濠を有する神後田遺跡が発見され、改めて注目を集めている。本展では、弥生時代に田和山遺跡が出現して以降、宍道湖と中海をつなぐ大橋川近郊を舞台に意宇の地が古代出雲の中心地となる様子をたどる。</p>	
<p>●館蔵品展「平塚運一 いざ摺らん」</p> <p>開催期間：1/27（金）～4/2（日）</p> <p>松江市が数多く所蔵する平塚運一の版画作品を中心に展示する。</p>	

共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	330		
旅費	305		
需用費	609		
役務費	376		
委託料	15,233		
使用料及び賃借料	10		
事業費計		16,863	



令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	市民美術展開催事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	幅広く市民の美術への理解と関心を深めるとともに、発表、鑑賞の機会を確保し市民文化の向上を図る	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		来場者数（人）	940	1,600	1,600	1,600
	目標（何を達成するのか）	出品数（点）	190	250	250	250
市民が創作した芸術作品を募集し、市民美術展を開催する。						

事業概要	<p>市民から芸術作品を募集し、市民美術展を開催する。 松江市民美術展実行委員会へ委託して実施する。 優秀作品として、市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作を選出する。</p> <p>会場：島根県立美術館 期間：9月上旬 部門：洋画、日本画、写真、書、工芸（5部門） 賞：市長賞（5本）、優秀賞（10本）、奨励賞（20本）、佳作（25本） 主催：松江市 後援：松江市教育委員会 ほか</p>
------	--

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	<p>■第49回市民美術展開催■</p> <p>会期：9月2日(木)～6日(月) 会場：松江テルサ テルサホール 出品数：131点 来場者数：940人 実行委員会：4回開催 市民自ら制作した芸術作品を募集し、市民美術展を実施。 洋画、日本画、写真、書、工芸の5部門ごとに市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作を選考し、表彰した。</p>	<p>■第50回市民美術展開催■</p> <p>会期：9月1日(木)～5日(月) 会場：島根県立美術館 洋画、日本画、写真、書、工芸の5部門ごとに市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作を選考し、表彰する。</p>	<p>市民自ら制作した芸術作品を募集し、市民美術展を実施。 洋画、日本画、写真、書、工芸の5部門ごとに市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作を選考し、表彰する。</p>
	<p>達成度</p> <p>1 計画目標に向けて順調に推移</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	3,296	2,287
	国・県支出金		
	地方債		
	その他	3,296	2,287
	一般財源	0	0
歳入合計		3,296	2,287

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>出品数、来場者が減少傾向。</li> <li>出品者が高齢化。</li> <li>初出品者が少ない。</li> <li>出品資格が認知されていない。</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>出品に、美術部、美術教室への所属不要である旨の周知</li> <li>高校、大学等の美術部への情報提供、出品呼びかけ</li> <li>美術教室等へ所属していない市民への情報提供</li> </ul>
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月	作品募集		
	9月	市民美術展開催・表彰式		



共創の状況	
-------	--

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	355		
委託料	1,932		
事業費計		2,287	

# 令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ課	市営体育施設改修費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	老朽化が進む市営体育施設の改修・修繕を行い、利用者の安全確保及び施設の利便性向上を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		市営スポーツ施設年間利用者数(人)	983,000	1,235,000	1,244,000	1,300,000
	目標（何を達成するのか）					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の利用促進</li> <li>スポーツの競技力向上</li> <li>市民の健康・体力づくりの増進</li> </ul>					

事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 市営スポーツ施設年間利用者数：2029(R11)年度
	老朽化が進む市営体育施設（松江市総合体育館を除く）について、利用者の安全確保及び施設の利便性向上を図るうえで、優先度の高い改修・修繕から順次実施する。

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画	
	<b>【主な事業】</b> ・ニュースポーツ公園グラウンドゴルフ場休憩所整備工事 ・鹿島総合体育館プール濾過設備改修工事 ・八束野球場バックネット改修工事 ・美保関総合運動公園野球場本部席エアコン設置等工事 ・宍道体育センターポーチ等改修工事 他	<b>【主な事業】</b> ・秋鹿なぎさ公園空調設備更新工事 ・鹿島総合体育館空調監視装置更新工事 ・鹿島武道館屋根改修工事 ・宍道B&G海洋センター中央監視装置更新工事	<b>【主な事業】</b> ・八束総合運動場野球場フェンス改修工事 ・松江市営野球場メインスタンド防水対策工事 ・美保関総合運動公園野球場バックスクリーン改修工事 ・鹿島武道館トイレ洋式化工事	
	※市営補助競技場は人工芝張替工事に伴い約3ヶ月間休止するため、平成29年度から令和元年度の平均利用者数に対し、1万8千人の減を見込む。			
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

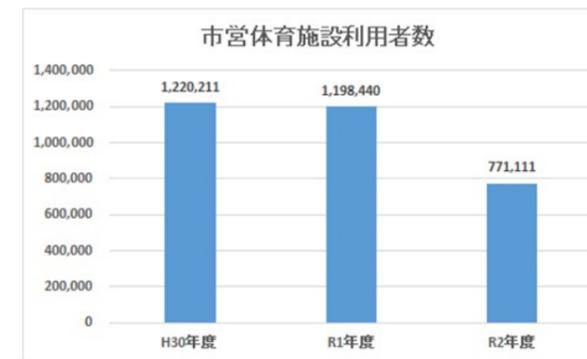
歳入・歳出の推移(単位：千円)	R3	R4
	決算見込	当初予算
事業費	84,622	226,676
国・県支出金	0	0
地方債	41,200	75,700
その他	28,082	131,389
一般財源	15,340	19,587
歳入合計	84,622	226,676

課題	老朽化が著しい施設が多く、施設の突発的な故障等への対応に苦慮している。	方向性	施設の改修・修繕については、指定管理者へのヒアリングや現地調査により、利用者の安全確保や施設の利便性向上に向け、優先度の高いものから順次実施する。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	体育施設整備事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	施設の稼働状況などを勘案し、順次実施する。		

### 本事業に関する主要データ



年度	利用者数	前年度比較	主な前年度増減理由
H30	1,220,211	1,725	松江総合運動公園利用者の増(好天等による)
R1	1,198,440	△ 21,771	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響による減
R2	771,111	△ 427,329	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響による減

屋内スポーツ			屋外スポーツ						
体育館	武道館	プール	野球	テニス	陸上	補助競技場	多目的広場	グラウンドゴルフ等	艇庫
14	2	2	8	8	1	1	15	3	2
56									

共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	6,063		
役務費	227		
委託料	8,302		
工事請負費	206,521		
備品購入費	4,563		
補償補填及び賠償金	1,000		
事業費計		226,676	



令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ課	スポーツコミッション設立準備事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	地域スポーツコミッション推進事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	スポーツを通じて交流人口の拡大を図り、観光振興と結びつけることで地域経済の活性化を図るとともに、市民がスポーツに親しむ機会を創出し健康増進や競技人口の裾野拡大を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	スポーツコミッションの活動（活動中=1）	0	0	1	1
	スポーツ関係団体・観光事業者・経済団体・市などの官民組織が連携したスポーツコミッションの活動を通じて、スポーツによる地域活性化を図る。					

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	具体的取組の検討、試行	～3月	規約・事業計画・予算案作成
	4月～	運営体制検討	令和5年度	設立総会
	6月	先進地視察	令和5年度	活動開始
	10月	設立準備委員会		

事業概要	<p>スポーツ関係団体・観光事業者・経済団体・市などの官民組織が連携した常設の組織であるスポーツコミッションを設立し、年間を通じてスポーツによる地域活性化に取り組む。</p> <p>主な取組と活動内容の例</p> <p>①情報発信・イベント等の開催支援 松江スポーツ総合サイトの開設、開催支援ワンストップ窓口の設置</p> <p>②地域経済活性化 マラソン大会の充実による観光振興</p> <p>③スポーツ振興・健康増進 スポーツイベントと連携した健康づくり・スポーツ普及事業</p>
------	--

本事業に関する主要データ	
松江市地域スポーツコミッション設立準備委員会 構成団体（計13団体）	
団体名	松江商工会議所 (一社)松江観光協会 (一財)くにびきメッセ 松江旅館ホテル組合 (一社)日本旅行業協会中四国支部島根地区委員会 (一社)島根県旅客自動車協会 松江美味店会 (公財)松江体育協会 (株)バンダイナムコ島根スサノオマジック 松江シティFC(株) 松江市障害者スポーツ協会 山陰中央テレビジョン放送(株) (株)日本政策投資銀行
事務局：松江市	

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	令和2年度に開催した松江市地域スポーツコミッション設立準備委員会における意見を踏まえて、設立後の活動内容や運営体制について検討を行った。	・先進地視察や設立準備委員会プロジェクトチームによる作業を通じて、スポーツコミッション設立後の具体的取組・運営体制・予算・規約等について検討する。 ・松江市地域スポーツコミッション設立準備委員会を開催し、設立内容について関係団体の合意形成を得る。	関係団体によるスポーツコミッションを設立（設立総会を開催）し、スポーツを通じた地域活性化に向けた具体的な取組を開始する。
	達成度		
	2	計画目標に向かって概ね順調	

共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	0	3,633
	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	0	3,633
	歳入合計	0	3,633

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,187		
職員手当等	498		
共済費	407		
旅費	291		
需用費	200		
使用料及び賃借料	50		
事業費計		3,633	

課題	スポーツコミッションで取り組む活動・事業を具体的に整理し、事務局を含めた運営体制を検討する必要がある。	方向性	各団体の担当者によるプロジェクトチームにおいて地域活性化に繋がり得る取組内容について具体的検討を行うとともに、事務局体制の在り方について、関係団体の意見を聴取しながら検討を進めていく。
----	---	-----	--

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ課	中海スポーツパーク整備事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	人工芝を備えた多目的広場を整備し、市民のスポーツ振興や健康づくりを推進するとともに中海周辺地域の活性化を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		市営スポーツ施設年間利用者数（人）		1,235,000	1,244,000	1,300,000
	目標（何を達成するのか）					
・スポーツの競技力向上 ・施設の利用促進						

事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 市営スポーツ施設年間利用者数：2029(R11)年度
	【概要】 人工芝を備えた多目的広場を整備：1か所

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
		<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブハウス建築工事設計</li> <li>トイレ建築工事設計</li> <li>公園測量設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地造成等工事</li> <li>ナイター照明設置工事設計</li> <li>地盤調査</li> </ul>
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3	R4
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		0	0

課題	・公式試合が可能な芝生のサッカーグラウンドは他市と比較して少なく、土・日・夜間の施設予約は取りにくい状況にある。あわせて、FC神楽しまねの練習場の確保に苦慮されていて、支援のためにも芝生のサッカー場（練習場）の整備が急がれる。	方向性	・幅広い年齢層の市民の方々がスポーツに親しめる多目的広場としての活用を検討

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	スポーツ振興の拠点づくり事業（スポーツパーク整備）

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月～8月	クラブハウス・トイレ建築工事設計入札、契約手続き等		
	8月～3月	クラブハウス・トイレ建築工事設計		
	7月～8月	公園測量設計入札、契約手続き等		
	8月～3月	公園測量設計		

本事業に関する主要データ



共創の状況	
-------	--

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0